男女貞潔之理想　會長 島田三郎

公娼廢止之主張　副會長 安部磯雄

4—1
（大正六年一月一日納本）（毎月一回一日發行）

廓清

第七卷第一號

□廓清時言……廓清會理事 益富政助
□大正六年を迎ふ……衆議院議長 島田三郎
□新年と修養……早大教授 安部磯雄
□歐米の婦人運動……礦油會社長 高野重三
□家庭生活の廓清……法學博士 添田壽一
□青年元氣論……成女學校長 宮田脩
□活動寫眞の研究……ドクトル 三田谷啓
□帝國憲政の進步……大阪每日政治部長 高石眞五郎
□人生の旅路……農法學博士 新渡戸稻造
□英國廓清會より……英國廓清會 アレキサンダーコート
□遊廓物語……婦人救濟係 伊藤富士雄
□天鼓の響……有馬純雄
□廓清運動の近況……江南生
□廓清春秋……元大連商業學校長 河合北洲

東京 廓清會本部 發行

Digitized by Google
Original from COLUMBIA UNIVERSITY

本舗 小林富次郎
東京市本所區外手町

多幸なる新年劈頭
先づ諸君の愛用せらるる
ライオン歯磨が
今年も諸君の健康と幸福とを守りて、
益々諸君を希望の地に進めむことを祈る。

謹賀新年

祈會員諸君之清福

大正六年一月

廓清會本部

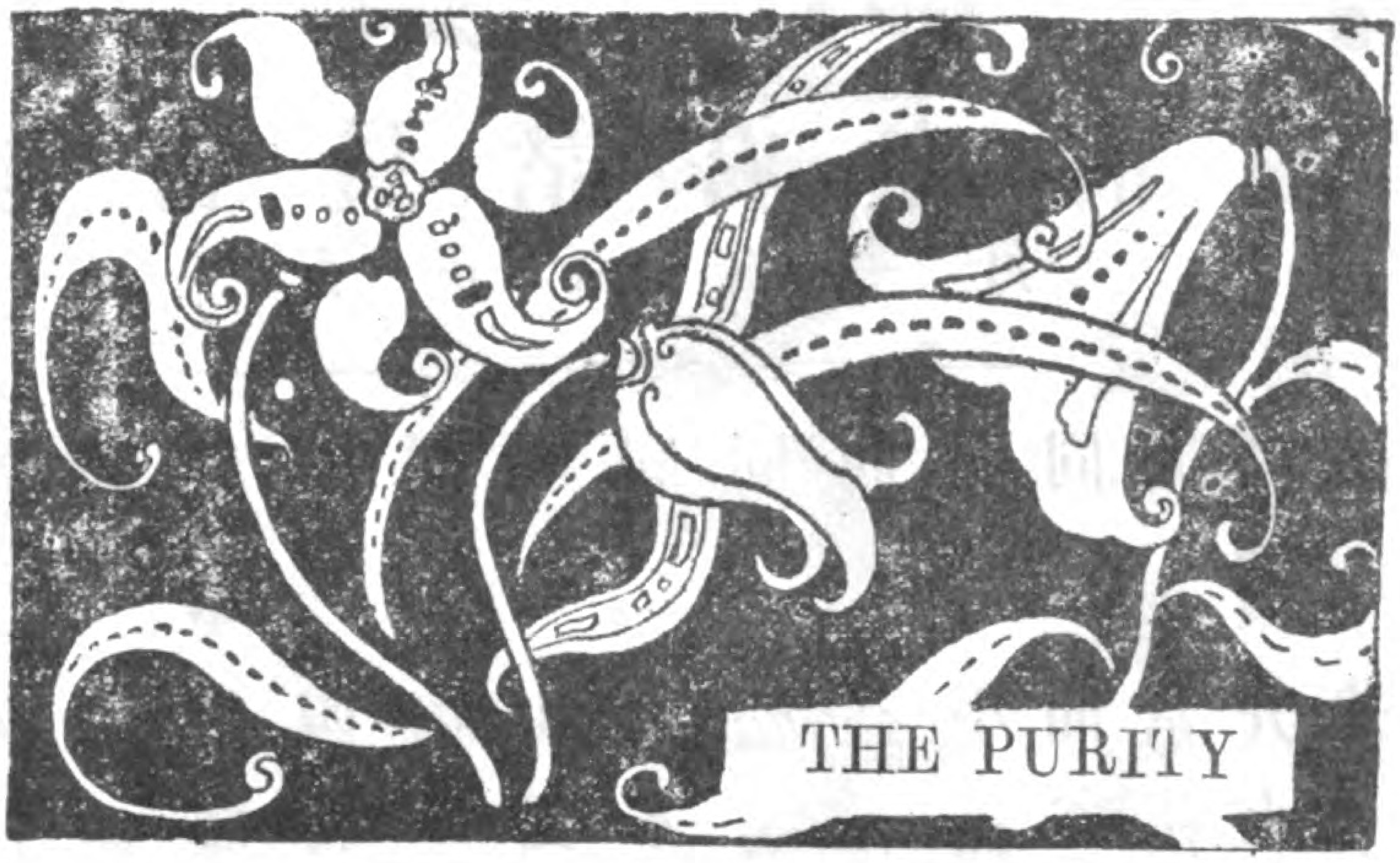
會長 島田三郎
副會長 矢島楫子
同 安部磯雄
理事 伊藤富士雄
同 西村勘之助
同 内ケ崎作三郎
同 山田彌十郎
同 山本邦之助
同 松宮彌平
同 益富政助
同 小松武治
同 油谷治郎七
同 宮田脩
評議員 井上哲次郎
同 井上胤文
同 林歌子
同 原田助
同 徳江亥之助
同 大倉文次
同 小河滋次郎
同 緒方銈次郎
同 長田時行
同 加藤直士
同 高木貞衛
同 高島圓
同 根本正
同 名出保太郎
同 中津親義
同 鵜崎庚午郎
同 浮田和民
同 植村正久
同 栗原基
同 山室軍平
同 松浦有志太郎
同 牧野寅次
同 増田義一
同 福島四郎
同 小林富次郎
同 小崎千代子
同 江原素六
同 安藤太郎
同 佐島啓助
同 湯淺治郎
同 湯淺豐太郎
同 三輪田元道
同 三並良
同 宮川經輝
同 平岩愃保
同 平沼淑郎
同 日疋信亮
同 元田作之進
同 角倉賀造
同 角谷和市
主事 伊藤秀吉

Digitized by Google
Original from
COLUMBIA UNIVERSITY

廓清

第七卷第一號

大正六年一月



廓清時言

英國の風紀問題

英國國民が目下の時局に於て體力及び健康が最も必要なるを自覺しつゝあるを機會に倫敦の宗教家は風紀廓清運動に着手したり。倫敦の一僧正は近頃若き軍人の爲に此等の弊害を除くと同時に、淫靡なる劇を一掃することの必要を説いて曰ふ――現に倫敦市中を徘徊するものの中にて、獨探よりも有害なるものは『男鷹』なるも彼等は強慾飽くことを知らざる者共にて夜毎に哀れなる婦女と共にピカデイリイ街を往來し、婦女をして醜行を働かしめ、彼等の懷より其の金を奪ひ去る。此等と共に國賊の中に數ふべきものは淫猥なる芝居の作者なり。予は敢て血に渇するものにはあらざるも、彼等を銃殺することは寧ろ過ぎた取扱なりと思ふ。

イングラム僧正もまた一新聞の記者の質問に答へて曰ふ――今に於て倫敦を掃除することは從軍を許されざる中年の人々と帝都を美しからしめんことを欲する婦人の事業にして、出征の軍人が歸り來りし時に於て、倫敦が昔ながらの倫敦であることは恥づべきことなり。或は斯の如き弊害を以て一個の必要なる避くべからざるものと爲すものもあり。或は進歩せる思想家にして、道徳と健康とは必ずしも併行せざるを説くものあれど此等は抑何たる馬鹿げたことぞ、それにしても汚れと罪とより英國の帝都を救はんが爲に、最も有力なる助力を爲すものは、勞働者の階級を措いて之を外に求むる能はず、予は勞働階級の人々が自分の娘や息子の幸福を研究して彼等をして惡べき害惡から遠ざかる樣に努めんことを望んで止まず』と。

廓清運動は實に時を得るも時を得ざるも之が爲に奮鬪すべく努力すべきは勿論なるも、又時の如何は其目的を達し其功果を擧ぐるに自ら多大の關係あり。吾人は英國の廓清運動者が、其時を捕ふるに宜しきを得たるを喜ぶと同時に、我國の現狀が亦最も廓清の好時機なるを感じ、此新らしき新年に於ては將に一大飛躍を試みざるべからざるを思ふ。蓋し時代は當局者を驅りて著しく娼婦の問題に注意せしめ、風紀警察當局の此方面に於ける努力は何人も感謝する所、若しそれ此機に於て當局と廓清運動家と互に意志の疎通を圖る上に相提携し、協同一致社會風紀の廓清に力を致さば其功果は必ず著しきものあるべきを信じて疑はず。

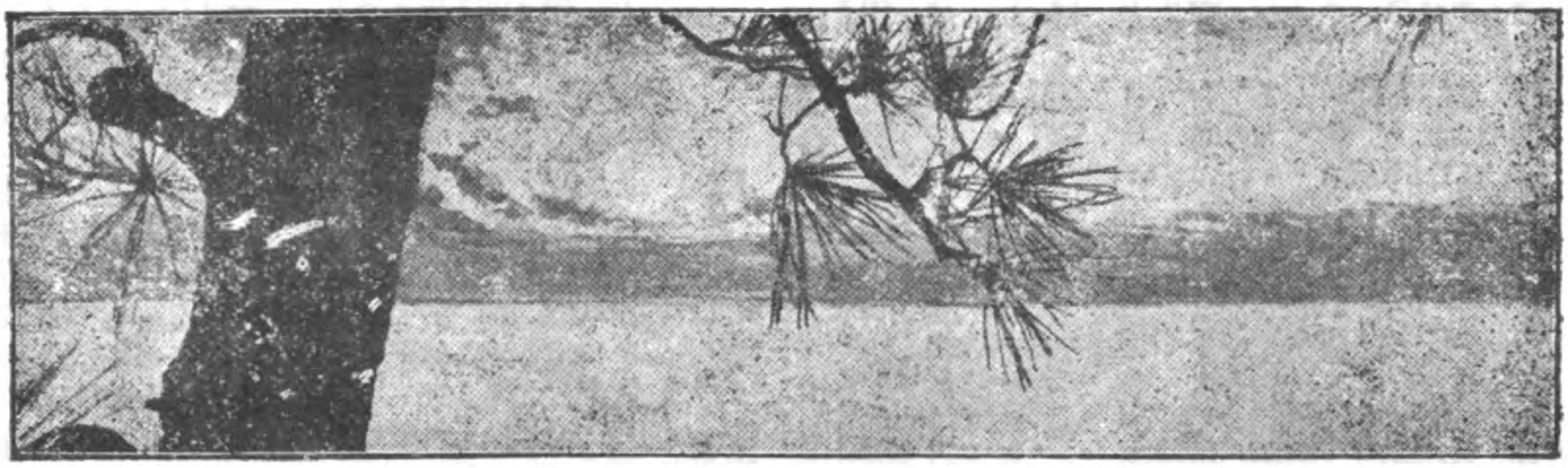
日本婦人諸君に與ふ

米國合衆國四十餘州中、現に其十二州は其婦人に參政權を與へ、選擧權の所持者實に四百萬人を超ゆといふ。四百萬人と言へば現今我國基督新教徒の四十倍に相當す。盛んなりといふ可し。是等多數の參政權者の過ぐる大統領選擧の際に於ける運動は實に花々しきものありき。彼等は先づウイルソンヒユーズの二候補に對して質問書を提出して言へり『貴下は憲法を修正して女子にも男子同樣參政權を與ふるの條項を加へらるゝや否や』と。而して此質問に對し、ウイルソン氏は答へて『婦人に參政權を與ふることは、個人としては頗る贊成する所なり。予の能く勢力の及ぶ範圍に於ては、此目的の遂行のために盡力す可し。爾かも此問題たるや中央政府が命令す可き性質のものにあらずして、各州が其自治權によつて生ずべき性質のものと信ず』と更にヒユーズ氏は曰く『斯の如き問題のために累年米國の人心を動搖せしめ、煩を國政の上に及ぼすが如きは甚だ好ましからざるが故に、此際斷然憲法を改正して女子にも參政權を與ふ可きものなり』と。要するに海の彼方なる米國民の婦人問題に對する進歩實に斯くの如し翻つて我國の現狀を見ば如何。

豈それ參政權どころならんや。我帝國には尙事實上の奴隸十萬を超ゆ。而して此奴隸解放の問題すら尙は解決せざるに非ずや。然るに日本の婦人諸君が此十萬（娼妓藝妓を合し）の奴隸問題をば只單に其十萬人の問題とのみ思ひ居らるゝは、余の甚だ遺憾とする所之は決して五萬人の問題には非ず、普く日本の女性凡ての問題也。蓋し「日本には從來、婦人は男子よりも劣等の者なり』『婦人は金錢を以て賣買して差支なきものなり』『婦人は金錢を以て賣買したる以上は如何に其自由を束縛するとも差支なきものなり」といふ思想あり。此思想が根底をなし、又は敎唆をなして玆に五萬十萬の婦人が物質同樣賣買され奴隸として驅使せらるゝ也。要するに日本の娼妓は畢竟此の驚く可き非人道的なる日本の婦人觀の犧牲になつたものに外ならず、故に若し過まつて他の婦人の境遇が彼等と同一の境遇に生れ育られたりとせんか。誰か『私はそれでもア、はならなかつた」と言ひ得るものぞ。

要するに廢娼問題は單に遊廓移轉問題とか、自由廢業問題とか一個の遊廓や一個人の利害問題には非ずして日本人の婦人觀に對して根本的、革命を起さんとするの大運動なり。此要點を捕へて自覺せられんことを望む。（珠川）

Digitized by Google Original from COLUMBIA UNIVERSITY



大正六年を迎ふ

衆議院議長
廓淸會々長　島田三郎

□人心の覺醒未だし

大正も六回の新しき年を迎へて、明治より算し來れば丁度五十年に達した。此時間の變化は世界的に見ても古來の歷史になき大變化であつて、日本帝國としても其の著しき變化は殆んど別世界の觀がある。若し明治初年の人を何れの處にか閉居せしめ、忽然と大正六年の社會を見せしめたなら、殆んど昔話にいふ浦島歸國の感があるであらうと思ふ。

進んで止まざるは人生の趨勢であるから、何事も進步するには相違ないが、世俗的の事柄は一進一退を免れぬ、政治社會の三十年の變化は、面目は更まつてゐるけれども、精神的に觀察すれば、依然として舊態を脫しない。蝸牛角上の爭ひを事として、眞率なる憲法政治の實現は得て望むべからざる狀態にある。即ち世人はいふ、政界は萎微不振であると、誠に然りである。乍併政治は元來社會を離れて單獨に成立するものでない、故に社會人心の反射がやがて政界の萎微不振となるのである。原因は即ち人心の未だ醒覺せざるに在る。

□昨年に於ける奮鬪

古來の純正なる政治家は、人心の覺醒は風俗の改革を基とした。人心正しければ政治も眞面目となる、風俗醇厚なれば政治も誠實となる。此點に於て我が廓淸會の仕事は甚だ遲々たるものゝ如く見ゆるが、根本には觸れた名譽ある事業といふも敢て誇言でない。廓淸會が機關雜誌を發刊してより六度新春を迎へたが、世間に廣告的に吹聽しないから知らない人も多いであらうが、進むあつて退くなしといふ事は、極めて喜

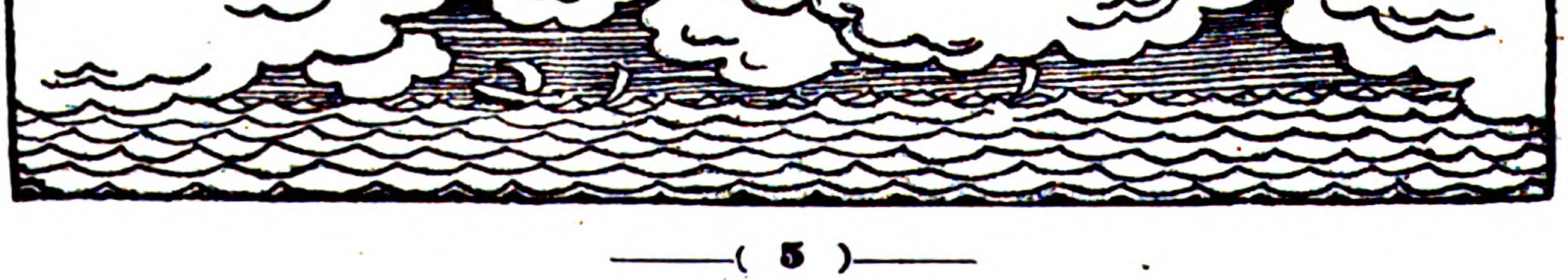
ぶべきで、始めには世の問題とならなかつた眇たる有志の團體も、漸次世に囑目せらるゝ事となつた。實地問題として物質的利慾に耽ける者あり、社會を紊らんとし風俗を壞らんとする者ある毎に、廓清會の反對は恐るべき刺激だと認めらるゝに至つたのは事實である。

昨年に表はれたる大阪に於ける新遊廓設置の事件、東京に表はれたる公娼擴張の問題の如きは、廓清が一敵國として、此等主張者に認められた。從つて普通新聞の批評の本源となつた。一昨年御大典擧行の際には藝妓の行列を公許せられ、我等の反對は此時に行はれなかつたけれども、依つて以て東京市は勿論、全國の人心を刺激し覺醒せしめたるは、昨年の立太子式の際に於て表はれた。又花街行列の演藝を仕組んだ女優が海外に出掛けんとして、之れも我同志の聲が反響して中止されたのは、日米國交上の幸であつた。我會主事の筆に成れる「飛田遊廓設置反對意見書」が大阪の同反對同盟會によつて出版せられ、貴衆兩院議員、各府縣知事其他朝野の有力なる方面に三千部を配付した、之れ又社會の爲めに一大敎訓となつた事を疑はぬ。其他本會の會員は各地に於て風敎問題の爲めに努力した。

□野の百合を記號に

昔孔子は筆を「春秋」に加へて亂臣賊子恐ると孟子をして云はしめたが、眇たる廓清の團體と、其機關『廓清』は之等反對の方針を取る人に向つては恐るべき刺激となつたのは事實である。而して正を踏んで撓まざる人々をして心强からしめた事は事實である。眞に昨年に於ける一ヶ年の會員諸君の努力は決して徒爾ではなかつた。

吾人は今茲に大正第六の新年を迎へ、會員各位の健康を祝すると共に、前途には健實なる同志を四方に求めて、我々の主張を更に勢力あらしめ、社會と人道との爲めに愈々貢献する處あらねばならぬ。精神一到何事不成の古語の如く、信念確乎ならば其主張を實現すべきは疑ひを容れぬ。吾人は山の如き確信と雪の如き清潔とを擁いて、更に本年の奮鬪を續けなくてはならぬ。



Digitized by Google
Original from
COLUMBIA UNIVERSITY

靑年と修養

廓清會副會長
早大敎授　安部磯雄

□人生の二大禍害

私は平生から新年といふ事に就て特別には考へて居ない。又修養に就ても同じく其期日などに意を用ひぬから、改まつて新年と修養といふやうな事は私の欲しない處である。我々に取つては平生片時も忘れてはならない二つの問題がある。其一は本會の廢娼運動であつて、我々國民として最も恐ろしく考へらるゝ處の花柳病の禍害である。第二は酒の害であるが、此二つはもつと國民各自が眞面目に考慮せなければならない問題である。然るに此最も恐る可き花柳病と酒毒とに就て、餘りに無頓着に過ぎる。此の人生を毒害する二大害惡が、習慣上害惡と感ぜられないといふは、洵に不思議であると謂はねばならない。我々は新年に於ても、又平生でも先づ斯る考へを根本から覺醒する事に就て大に指導するの必要を思ふのである。我等の修養は先づ此の二つの問題に傾注されなければならぬ。

□國民の墮落せる證據

今日は多くの黴毒患者が其病に苦んで居るけれども、病氣の性質上何處迄も隱蔽する傾向がある。啻に黴毒許りでなく酒毒に苦む者も、同じく人に知らしめないやうに努めて居るが共に最後は失敗して了ふのが常である。されば斯る害毒を知らぬ人は、苦痛の經驗がないから怖ろしいとも思つて居ない。畢竟黴毒に罹つた人が之を隱蔽して、黴毒の害を人に知らしめぬから無經驗者には、黴毒の害といふのは一體什麼ものか一向判らぬのである。酒毒も之れと同じ事である。乍併黴毒の如何に其害の甚大なるかを知り乍ら、之を抛つて置く事は國民の墮落しつゝあるを傍觀するやうなものである。黴毒は個人の問題に止まらず、遂に國家興亡の大問題として考へられなければならぬ。故に黴毒に罹つて居り乍ら平氣で將來に癒るなど、抛つて置くといふ事は、國民の墮落を示して餘りある證據であると謂はねばならぬ。

□驚く可き實業界の腐敗

此間某會社に勤めて居る一青年が身上相談に來た。其青年は品行が正しいので同じ會社に勤めて居る他の人達の不品行といふ事に頭を痛めて居る。不品行といふのは即ち酒池肉林に彷徨する事で、會社員全體の九割は皆花柳病患者であるといふ。而して誰も彼も皆之れを平氣で抛つて置くやうな狀態で、隨つて他人に病氣を傳染さしては氣の毒だ抔と考へて居

Digitized by Google
Original from
COLUMBIA UNIVERSITY

る人がない。便所へ行つても手洗場の手拭を使用する事は出來ぬから、自分は態々其のハンカチーフを持つて居らねばならぬし、又其他の事物に依つて何時感染するかも知れぬから充分の注意を拂はなければならない。病毒菌の附着する手を持つて目等を摩つた曉には盲になるかも知れぬといふ、身體上に最も危險を感ずる許りでなく、それが爲め生命に迄も及ぶやうな事があつては取り返しの付かぬ事になるから、折角實業界を志したけれども、眞率に考へて見て寧ろ此處を退社したいと思ふ。さて現今に於ける實業界の恐ろしさを染々語つたのである。其等の事が眞實であるとすれば國家に取つては一大不祥事であつて、此國家を想ふて將來に及ぶ時私は身に粟を生せざるを得ない。

□偉人に二代なき所以

如上の事實を聞いて驚く人もあるであらうが、瑞典などに於ても男子の花柳病患者が其八割を占めて居る。我國の九割といふ事は眞個の事實であつて、之れに對し些しも疑念を挾む餘地がないのである。

而して該青年の語る處に依ると學校の方は左程甚しくはないが、一旦社會に出て會社なり其他の職務に就くと直に其病毒の甚しい事が判るといふ。上述の事實は國民の墮落が今や、奈落の底に陷りつゝある事を證するものである。何年の壯丁檢査の成績を見ても逐年甚だ體格の不良となるのは、國民の不健全のみならず、[illegible]の害が、腦髓に迄も影響を及ぼし精神上に[illegible]大に墮落することゝなるのは明かである。

酒の害を受くる事も夥しい。飲酒する其人自身には左程其の影響が見えぬやうだけれども、それが爲に及ぼす害毒は實に怖る可き者がある。日本の偉人から良い人が生れぬのもそれが爲めである。けれども或人が之れを假りに否定するとしても、若し道徳が本當ならば偉人には偉人が生れる道理であるのに、日本に於ける古往の政治家、軍人、學者が二代と續いて居ないのは、酒と女の事に就て相當の注意を拂はぬからである。此の二の事を考へて見るならば成程と肯かれる筈である。

□他人に迷惑をかけざれ

如斯有樣にて今後我國が進んで行くならば、國民は益々墮落する許りでなく、國家的に國民的の罪惡を免れる事が出來ぬ。私は即ち此點に居て國民を警醒する事を以つて本會の任務と考へてゐる。

斯く考へて來て我々の修養から云ふと、我日本國民はどうも道徳上の考への乏しいといふ事が判る。道徳の初めは、即ち人に迷惑を掛けぬ事より出立しなければならぬ。だから人に善を施すといふやうな事は寧ろ後の事である。然るに其の第一に就て遺憾乍ら我國民は餘りに重要視しない。人に迷惑を掛ける事を少しも惡いと考へて居ない、利己主義の[illegible]も甚だしい國民で、人に如何なる影響を及ぼさうと一向平氣で居る。汽車、旅館、學生の會同其他凡百の集合の際に他人に迷惑を掛けぬといふ考へが頭に入つて居るならば、大した事がないのに其れも[illegible]さういふ考へがない。酒と女に對する考へと

いふものが甚だ稚鈍である。

□盲目は滛酒邪色の報ひ

酒と女の害は自分許りではない。他人に非常なる迷惑を掛ける。他人とは子や家内で、即ち先づ妻子に迷惑を掛ける。盲目等は其の一證である。盲目は下流社會に多く見るやうであるが、決して然うではない、上流社會にも隨分ある。世に盲目といふのは大人小人に限らず實に氣の毒である。人生の價値といふ者が少しもない、而して幼少の時からの盲目であるなれば尙更其感が深い。此の怖ろしい盲目の原因は其大半は親の罪惡から來た處の報ひである。其報ひが子一人丈にて濟むかといふのにさうではない、又其子にも盲目が出來て親子共盲目である抔は、隨分悲慘な事である。

酒の方でも同じ事であつて、彼の巣鴨の精神病院に於ける半分以上の入院者は皆、酒と女の二つの罪惡から來て居るといふ事である。斯く其害が子孫に及ぶといふ事を考へると怖ろしい感じがする。だから他人に迷惑を掛けて居るといふ事が平氣である事が判る。今日他人に迷惑を掛ける事は非常なものである。

斯くの如き現狀を呈し來たといふ事に就いては、此罪上流社會の人達にあると思ふ。上流の人達が氣儘な考へで、精神的に人々の迷惑を考へぬといふ有樣は、今日國民の墮落を來した一大原因であると思ふ。上の好む處下之より甚しきものありといふ點から見ても同じ事で、今日上流社會の人達は大概此點の修養に就て其初步も出來て居ない、隨つて他人や國民に及ぼす害惡抔は一向考へて居ないのである。

□改革決して困難に非ず

次に最う一步進んで考へて見るならば、之から無垢の青年を救ふのは比較的容易であるから、其方法を充分注意して考へて見たら如何かと思ふ。此の點に就ては誰も反對する者はあるまい。皆贊成する事と思ふ。法律も是非さうでなければならぬ、根本氏が幼年禁酒に就て非常に頭を惱して居らるゝのを皆が笑ふけれども、其樣な筈はない。禁酒案も漸く近頃になつて出來たやうな譯であるが、之れを二十歲を限度とせず、漸次廿五歲次には卅歲といふ事に進んで行けば、何時でも習慣に依つて禁酒する事が出來る。

然るに凡ての事を自分自身の立場から許り人は考へるから不可ないのである。日本のローマ字を用ふゆる事なども同じであるが、日本も此のローマ字を用ひぬと遂に取り返しの付かぬ事になるのは明らかである。然るに自分達を標準にするから實に困ると思ふ、今日の小學校から初めて十四五年經てば、それ相當の書籍も出來て來るし、卅歲位になつた時には世の中の事が半分ローマ字で足りる。官報抔も其時には半分宛書いて、漸次ローマ字を普及すれば軈ては其效果を見られるのである。社會の改良はさういふ風にしてやつて行きたい。然るに人間は自分を標準にして物事を考へるから何うも捗々しくない。

されば今卽刻茲に改める事は至難であるとして、これからの若い人に就て考へ、若い人の爲めに貢獻するやう勵行する

Digitized by Google
Original from COLUMBIA UNIVERSITY

ならば誰も贊成する事であらう、又比較的容易な事である。酒と女に就て老人も是非考へて止めて貰はねばならないが、第二策として望む處は、卽ち斯の如き罪惡中に陷らぬやうにする事は實行の出來る譯である。だから此意味に於て是非やつて行き度い。

□東北線の椿事を顧みよ

過日東北線に於ける列車の衝突があつた際、其原因が酒の爲めから來たといふので、痛切に其害を感じ鐵道青年會の一事業とせる興風會が、尚一層の努力を爲す可く益富政助氏が奮闘して居られるのは寔に其當を得た立派な事業である。殊に鐵道從事員は比較的若い人達の多い處であるから尙其感が深い。元來鐵道院は禁酒主義を採る可きである、平時の戰時狀態の下にある彼の事業に於ては、一分の時間の差が其の事業上に於ける結果に如何なる影響があるかは、我々でもそれを略想像する事が出來るのであるから、醉眼朦朧職に膺る杯は以ての外である。此意味に於て其當事者の平生の考へがなかつたのは實に遺憾である。然れども現代に於ける社會其者が其原因の一部分を爲して居る點に至つては、蓋し其の罪の責む可き處多しと雖も又同情す可き點がないではない。

米國に於ける鐵道事業關係者は皆禁酒主義の者許りである故に鐵道といふ事と禁酒は之を離す事が出來ない狀態になつて居る、鐵道事業に入れば當然禁酒會へ入らねばならぬ。若し其禁酒を破るやうな事があれば、其事業から退かねばならぬのである。我鐵道院でも大に此の例に倣ふて欲しいと思ふ

やつて出來ない事はない、遣らぬから出來ない事のやうに思はれる迄の事である。

我々は常に酒毒と梅毒の二大敵を撲滅する覺悟を以て進まなければならぬ。之れ軈て新年であり、修養であり、本會の主張である。

廓清會告

一月六日午後五時、神田淡路町多賀羅亭に於て、新年懇親會を開く。會員諸君の來會を歡迎す。

但し會費金壹圓、出席者は五日迄にハガキを以て豫め本部へ申込まれ度し。

大正六年一月一日

會長　島田三郎

Digitized by Google　Original from COLUMBIA UNIVERSITY

青年元氣論

成女高等女學校長
廓清會理事　宮田脩

左は宮田氏が去月の群馬支部大會に於てせられたる講演であつて紙面の都合により二回に分ち、次號に「花柳病とイプセン劇」として其後半を掲ぐる事とした。校閲を經ず。

□青年の元氣は富國强兵の基

本來元氣といふ事は、殊に我國に於ては古來青年の間に大に重きをなしてゐた一の氣分である。藤田東湖が正氣の歌を作り、而して當時の青年、即ち我等の書生時代盛んに之を歌つたものであつたが、此の正氣の歌の如きは、元より青年の元氣を鼓舞しやうといふ目的で作られたのであらうが、他面から見れば我國は元氣を以て立つものである事を證したものといふ事が出來る。

一體國家の盛衰興亡といふものは、其の國民の元氣如何に重大な關係を有してゐると思ふ。殊に青年の元氣はあらゆるものに代へて尊きものである。國を憂ひ將來を思ふ人は或者は日本の富力の不足を最も大切な問題と考へるであらう。兵力の充足をより重大視する人もあらう。人樣々な議論が行はれるであらうが、それ等は何れも重要問題に違ひないけれども、若し我國の青年にして元氣がないならば、如何に多くの貔貅があつても、如何に澤山の艨艟があつても、それは畢竟狸の泥舟であり藁人形たるに過ぎないのであつて、假しや兵船の數少しとも、元氣だに充實せるあらば、國家の命脈は決して少くはない。青年の元氣、それは實に富國强兵の根抵たるべきものではないか。

□一時性元氣と永續性元氣

而も我國は、開國の昔からその元氣を尊んだ國柄であつて從つて隨分凜々しい元氣を奮ふた人が尠くない。併し單に元氣と云つても、一時的に興奮する樣な元氣と、持續的のものとの二種がある。興奮的といふのは千軍萬馬の間を物ともせず進むとか、闇に乘じて敵艦を封鎖すべく小蒸汽で決死的の突進をするといふ類であつて、私は之を一時的元氣乃至興奮的の元氣といふのである。斯ういふ元氣は同じ興奮性ではあるが、平生からの修養がなかつたら一旦緩急の場合に於ても猛烈なる元氣を發揚し得ないだらうが、中には酒の勢ひを借りて喧嘩をするといふ類の元氣がある。仲々元氣で、あの身體でよくまあ鐵拳など揮つたものさと驚くやうな事がある。

Digitized by Google
Original from COLUMBIA UNIVERSITY

醉が醒めると又ぐにやりとした男になる。これ等もやはり一時性の元氣、興奮性の元氣と呼ぶべきである。斯くの如き一時的元氣も國として必要である。殊に前述の如き戰時には一層切實であるが、も一つ考へて置かねばならぬ元氣がある。それは即ち永續する處の元氣、常に其の流るゝ血汐の中に、筋肉の中に、脈々として生動する處の元氣で、熱して冷むる如きものでなく充實せる元氣の持續せらるゝ事が甚だ大切なのである。

□永續的元氣の必要

私は今戰爭に興奮的元氣が必要だと云つたが、今後の戰爭は永く續いて行く元氣のある者が最後の勝利を博するのである。戰爭といふものは進化か退化か知らないが、敵の要害を取る、それも必要だが今回の歐羅巴の戰爭に見ても、戰爭は鐵砲の打合、刀の斬合でなくして、冷靜なる戰略の下に行はれるものたるを知る。即ち一時性の外に終始間斷なく續く元氣がなければ倒れて了ふ事を充分に語つてゐると思ふ。獨逸が聯合軍と此長い間屈せず戰ひつゝあるは此意味に於ける元氣を有するからである。更に若し平和の戰爭に於てならば如何であるかといふに、それは尙更の事で、一時に咲いた花は忽ち萎む、人の働きもやれ〳〵ッといふ調子も惡くはないが、一時に熱の出るのは又すぐ冷める。個人の事業にしても間斷なく進まねば駄目である。國としても元より然りで、青年の元氣は古今を問はず必要だが今後の青年には一層痛切に必要を感ずるのである。七度生れ代つても國の爲めに盡すといふ長い氣分を以て、長く努力を續け得られる事が大切である。此の氣分が續くなら、たとへ二十億の國債があらうが、恐るゝに足らぬ。歐羅巴の戰爭に對する我國の現在の如く、平穩無事太平を謳つて行けるのである。

□將來の大問題

今日の青年は果して其の元氣があるであらうか、西洋に留學する日本の學生は、隨分勉强もして成績も評判も甚だよいが、歸朝すると案外延びない。外國の教授は、日本の學生は學校で勉强する時は侮り難き成績を見せるが、卒業すれば駄目になる、持續的でない國民の將來は知るべきのみと云つた日本人は全く一時は寢食を忘れる程勉强する、乍併其階級を過ぐると勞れて了ふ。一冊の本も手にせなくなるのである。故にいつ迄經つても西洋人の糟粕を嘗めて居なくてはならぬ。今日の日本は侮る可からざる物質文明の進歩を示して居る。特に戰爭の影響は我國の製造工業を急激に發展せしめて居る。併し平和克復の後迄其需要が長く續く程優良なる品が出來てゐるかといふと、決して恃む事の出來ない有樣である。且つ其立派な製造工業をなしてゐる機械はどうかといふと皆外國製である。日本製が偶々あれば外國製を眞似たもので、而も長く使用に堪へぬとか損傷し易いといふ樣な事で、結局外國に仰がねばならぬ。如斯永續的の製造工業の起らぬのは又國民に永續的元氣のない結果に外ならぬではあるまいか。これは實に國家將來の爲めに考へて置かねばならぬ大問題である。

Digitized by Google
Original from COLUMBIA UNIVERSITY

然らばどうしたらよいのであるか、一般人の元氣はどういふ處から表はれて來るか、源とする處は何處にあるか、戰爭にも平和にも、常に元氣が國民の脉管に溢れ、潑溂たる精神を持續するにはどうしたらよいのであるか、些か愚見を陳べて見たいと思ふ。

□元氣は聰明の智識より出づ

元氣の溢れる處は、昔の人は氣分といふ樣なことで說いてゐたが、人の元氣の源泉は何處にあるかと云へば、一は人間の智識である、正しき智識である。此點に於て今日の獨逸は大に參考になるのである。ベルギーに於てもバルカンに於ても露の國境に於ても、尙あの通り裕々として戰ふてゐる模樣は、前途洋々の觀がある。如斯偉大なる彼等の元氣は何處から來たかといふと、一は彼等の聰明な處にある。何となれば獨逸は周圍を敵國に取卷かれてゐるから、一切の輸入が途絕して居る、從つて國內のものが減耗すべきは自明の理で、假令兵火に勝つても經濟上の逼迫を救ふの道はなかるべきである。然るに事實は眞に驚歎すべき成績を示しつゝある。彼等の聰明なる智識は、從來外國より仰ぎ來つたあらゆる需用物に對して、國內に於て立派に其代用を創造し、裕に其需用に應じつゝあるのである。最近獨逸の一雜誌が、獨逸が如何に長く戰爭に堪へ得るかと誇れる一事實を發表して居るのを見るに『從來獨逸は亞米利加から綿を供給されて居た。綿は火藥の最も大切な原料であり、且つ着物に用ひられる、之が途絕する事になると忽ち火藥が出來なくなり、衣物が出來なくなる、其一點だけからでも亡びるか亡びない迄も非常なる苦境に立たなければならぬのに、其の代用を國內の或る木の纖維から立派に製出する事を發明した。而も火藥としては此方が却つて爆發力が强烈である』といふて威張つて書いてある。斯うした自信は聰明な頭からでなければ出ない、故に彼等はどんな苦しい時でも其の聰明な智力によつて之に打勝つて行けるといふ確乎たる信念を有してゐるから、彼等は決して困惑する事なく、其元氣は常に橫溢してゐるのである。も一つ獨逸で大切なものは窒素の肥料であつて、これも亞米利加から送つて貰つてゐたものである。之れが途絕するとなると忽ち國內の食料品に缺乏を生じて來るのであるから、米國では何より先づ獨逸が之に困るだらうと想像して居つた。然るに聰明なる彼等は必要に迫まらるゝと、空氣の中から窒素を取つて肥料にする事を發見して盛んに應用しつゝあつて、獨逸人はお生憎樣と云つて居るのは驚くの外はない。

試みに今地を代へて日本を獨逸の狀態にあるものとしたらばどうであるか、日本人はよくどうにかなるといふ、窮すれば通ずといふが、獨逸の今日の如き場合、果して彼の如き釋々たる餘裕を以て、聰明なる智識によつてあらゆる難關を突破して行く丈の勇氣があるかどうか、不斷の勇氣は實に正しき智慧から出發せなくてはならぬ。日本人には智慧がないではない。併し日本人の智慧なるものは、あいつを欺して儲けてやらうとかいふの類の智慧であつて決して永續的でない。

□身體と道德との關係

Digitized by Google
Original from
COLUMBIA UNIVERSITY

斯くの如き正しき智慧は元氣の根源で、物の道理が解らないから事に當つて狼狽へる。而して此智慧と共に原則となるは體力である。貧乏は困るといふが、身體さへ丈夫ならば左程苦にはならない。其強壯な身體を使用して何とかするといふ自信がある。弱い身體を持つて居れば如何に正しき智慧を有つてゐても動もすると惡い方に精神が向き度がるものである。假へば電車の中に乗つても丈夫な時に婆さんが荷物を提げて這入つて來るとすると、氣の毒だと思つて席を讓る、ところが身體の加減の惡い時は『老年の癖に大きな荷物などを抱へて、止せばよいのに』と思ふ。丈夫な時は德を施して誇りを感じながら、弱い時には惡感を覺へて反對に不平を述べたくなるのである。身體が弱いと人が皆敵に見える。婆さん迄も其通りである。無邪氣な可愛い子供を伴れて乗るのを見ても、身體が弱いと心に鬼が出て『馬鹿だな、こんなに込んでゐるのに』など丶思ふ。頼山陽は胃病であつたといふ事である。昔から慷慨悲歎の士は大概胃病患者であつたといふ。胃病の爲めに色々の不平が起る、國政に對し時事に對して發した鬱勃たる不平が所謂志士であるといふ者がある、眞僞は保證の限りではないが、さう考へられぬ事もない。憂國の涙が胃病から來るといふんでは甚だどうも有難くない事になる不斷の元氣は實に身體の強壯な處に宿る。若し青年が強壯であるといふなれば、其人は必ず元氣が持續するに足る可能性があると云つてもよい。

然らば翻つて我々青年は果して體力の勝れてゐるかどうであらうかを考へて見なくてはならぬ。年々壯丁檢査の報告によれば丈は延びつゝあるが、體量は反比例に愈々減るのである。又學校の生徒の體格はどいふに、眼の惡い人が殖へる、胃病が多い、結核が多いといふ、事實があつて反對のよい方の事實はないのである。故に青年の體力問題は決して輕々に看過す可からざる状況にあるのである。

□元氣の消耗の原因

それに就て、特に今話したいと思ふのは、青年の元氣なるものを、打壞す處の最大有力なる病が、非常な潜勢力を以て蔓延して居り、苟も青年の元氣を論じ、國家の將來を思ふ者の實に寒慄すべき状態があるのである。それは何であるかといふと花柳病と肺結核である。併し結核の方は近年漸次豫防法が講ぜられつゝあるが肺結核の問題よりも、ペストの問題よりも、是非共今に於て國民が眼を覺さねばならぬものは花柳病問題であつて、青年の元氣を消耗せしむる一大根本である事を、題を改めて次號に詳述したいと思ふ(未完)

警視廳の奮闘

淺草公園、五六區千束町の私娼屋側の復活運動は、內務省警視廳を始め、殆んど凡ゆる方面に手を延ばし、或は請願に嘆願に、各方面に差出せる願書の如きも、既に三千餘通に上れるも遂に何等の効果を奏するに至らず、而も此裏面には政友會の某々代議士等も運動に力め居れりと云ふが、一方吉原にては此新廳令に依る張見世撤廢以來は、人氣稍々劣へしより是亦目下復活運動を試むる一方、飽迄私娼を撲滅すべく其運動方法に就いても寄々協議を重ねつゝあり。

英國廓清會より

英國廓清會監事
ウイリアム、アレキサンダー、クート

國民廓清會の事業は青年女子を保護するにあつた。隨つて夫等婦人の道德的生活上に、危害を加へんさする惡漢等も之を排斥するに充分意を盡したのである。卽ち婦人の道德的生活上に危害を加ふ惡漢、並に其手段方法等に就ては、廓清會本部に於て種々なる材料に依つて研究調査を爲した。其結果從來耳にせざる幾多の事實を知る事が出來、如何に彼等惡漢なる白人奴隷賣買者(我日本に於ける惡周旋屋)が惡手段を用ひて、婦人に危害を加へつゝあるかを觀る時には身に戰慄を覺ゆる程の、最も怖る可き罪惡の潜むで居る事を充分知るに至つた。

□ □ □

當時自分の娘が行衛不明さなつた爲め、警察に泣いて驅込む母親が隨分あつた。其訴を聞くに大槪は下の如くである。「娘が外國の或る家庭に居て漸次出世をする見込があるから、呉々も安心して下れ。さいふ手紙が來たけれども、其後何の音沙汰も無い。」さいふ。

之に就き種々調査を遂げた結果は斯ふである。新聞に外國の或る最も裕福な家庭に於て、婦人が必要であるさいふ廣告を見て娘はそれに應じ周旋屋の手に託されて外國へ行くのである。港に到着するさ之れを待ち受ける婦人があつて、暫時の間其婦人の家庭に、非常に親切な待遇を受け、慰安さいふ事に就て迄も百方手を盡して呉れ、之れでは幸福ださ娘は喜んで、其狀態を手紙で故鄕へ知らせるのである。兩親も其手紙を讀んで充分滿足する。神ならぬ身の親子は遂に惡周旋屋の毒手に陷つた事を感付く道理がないから!。

娘に對する親切、百方の慰安は勿論彼等の手段である。間もなく娘は何地の家へ連れられて行つて了ひ、而して全く外界さの交通を絶たれた處へ押込られる。これこそ日本でいふ魔窟の中である。最う其場合に於ける娘は周旋屋の恐ろしい事さ、雇主の虐待さに依つて、只生命を繫いで行く丈のもので、娘は遂に自暴自棄に陷つて、醜業を爲すに至る。如斯狀態で若い婦人が沈んで行くのである。

□ □ □

此方法は婦人を誘惑し、殆ご此尊き生命迄も奪ひ取るやうな手段を用ひて迄も、懷中を肥さうさする彼等惡周旋屋の一つの慣用手段である。啻に英國許りではなく、各國到る處の彼等は斯樣な手段を用ひて居る頁き例であるが、此他にも又多くを見出す事が出來た。併し餘りに巧みな方法手段さ、其詳細を發表するのは彼等同類の未知なる者に、敎へるさ云ふ事になるから其最も多く用ゆる丈を記して見るに

一、他人より財産家さ認めらるゝ樣な、殊に若い虛榮の高い婦人から、物質の極めて豊に見られる樣出來得る限りの立派な風彩を爲し、而して田舎の交通不便な未開地を求めて行くのである。其村人は必ず驚いて了ふ、若い婦人達は種々なる思摩臆測をなして、彼を讃め合ふて羨ましく思ふ其弱點に付込んでは、婦人に對し有らん限りの歡心を買ふ可く力める。遂に何も知らぬ婦人は彼の云ふが儘に結婚をするのである。斯くて尙二三の者を誘惑すべく女中さか、或は又乳母さかいふやうな名の下に雇入れ、本邸に歸るさ稱して皆連れて行く、斯くして彼等の身の行末は前の娘さ同じ境遇に陷るのである。

二、奴隷賣買業者に取つては、先づ第一に容貌の艶麗なる婦人を求めるが爲め、時さしては劇團の支配人の如く裝ふて、矢張田舎に赴くのである。そして大きな出鱈目を並べ乍ら吹聽して曰く、今度は外國よりの需に依つて、大なる劇團を組織して外國に興行に赴く事に決定し居るけれども、興行先で是非數名の若い婦人が必要ださ、巧に若い婦人の心を唆かして誘惑するのである。

□ □ □

如上の方法さ手段さによつて、年々歲々可惜青年婦人が奈落に陷らぬ爲めに、ユダヤ人會を初めさし、種々の團體が此等婦人救濟に多大の時日さ金さを費し、彼等惡周旋屋の撲滅に力めたけれども、殆ご効力がなかつた。彼等は相變らず盛んに惡事を營んで居る。

我が英國廓清會に於ても此問題に就ては惱まされた。或時は數百萬の小册子を配付したり、又は處々に會合を催し、或時は移民輸送船中の要處々々へ數ヶ國語に飜譯したる印刷物を掲示したり、乘船客に一人々々配付したりして惡周旋屋の毒手に陷らぬやうに強く誡めた。而して其文の終には「若も萬一の場合には、英國

廓清會は貴女の爲めに、與ふ限りの助力をする」と附記して置いた。乍併右の方法を數年間絶間なく實行し來つたけれども、彼等の惡事は從前通り盛んに行はれつゝあつた。

超えて一八九八年の九月の或日、海外出稼を望む若い婦人に對する警告書を書き直して居つた時に、今日迄取り來つた凡百の方法が、殆ど無効同然に歸する事を想ふた時、自分は甚く失望落膽して了つた。で自分は到底自分の力に依つて爲す事の出來ぬ此大事業が此先如何に爲り行く事かと思つて、遂に自分は其場に仆れて了ひ、神に祈を捧げて「何時迄も〱」と言ふて居る內、何時しか全く失神の境に陥つたのである。

□ □ □

其時に神に依つて與へられたか、又は他の原因があつたものか自分は一つの幻像を觀た而して其幻覺は覺醒した後迄も、尚嚴然として自分の心に強く深い印象となつて居た。其間は僅に十五分間であつたけれども、それが一つの纏つた考へとなるに至つたから、筆を執つて書いて見ると。

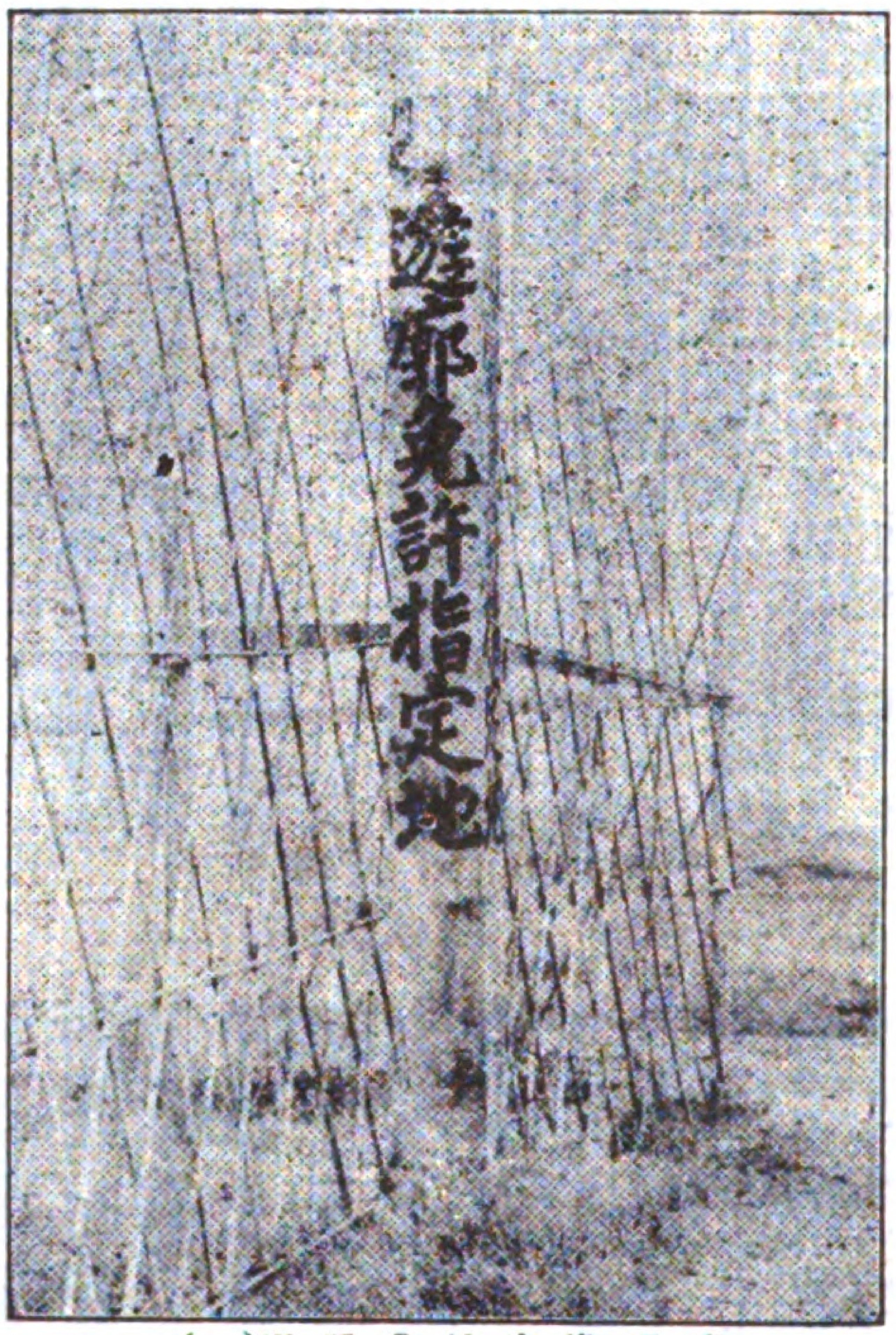
一、歐羅巴の各市府に赴き、有力なる人物を發見し惡周旋屋の怖る可き事を語り、尚ほ其他の有力なる人種、及び政府の官吏に相當の演説を爲す事。二、國家的及び人道的見地より此問題を解決する爲め、各國に之れが團體を設けんがため委員會を置く事。三、此白人奴隷賣買業者に對する制裁等に就き、全歐州に亘つて最も強き輿論を喚起する事。

四、倫敦に於て萬國大會を開く事。大會に於て國際的法律關係の上より此問題を解決すべく合議を爲す事

五、歐洲各國政府に惡周旋屋に對する法律制定に就き陳情又は請願等を爲す事。

六、右に就き各國委員會は此運動の實行機關となり國民に警告を與へて團體を組織するに力むる事。其他

人生を呪ふ魔の柱



飛田指定地の近況(一)

斯く書き終つた自分は、何偏も之れを繰返し〱讀むで居る內に其事業の如何にも重大にして到底何の點から考へても自分一個の力では實行する事が六ツ敷く考へてならなかつた。

乍併若も神が自分の道を開いて下さるならば、自分は如何なる萬難も排して、之を遂行するといふ確心を得たけれども事業に着手する先づ第一の必要は金である事に氣が付いたのである。

廓清會支部準則

第一條　廓清會は各地に支部又は分會を置く〱

第二條　支部は貳拾名以上の會員所在地に之を置き分會は貳拾名未滿の會員所在地に之を置く

第三條　支部又は分會は其地方の市區町村名を以て之に冠す

第四條　支部又は分會に會員の互選を以て幹事を置く幹事の人員及任期は各部會に於て適宜之を定む

第五條　幹事は支部又は分會一切の事務を掌る

第六條　支部には支部員の推選により支部長を置くことを得

第七條　役員を推薦したる時は直に本部の承認を經可し

第八條　支部長所在地にありては支部長支部を代表し支部長なき支部又は分會にありては幹事之を代表す

第九條　支部及分會は隔月壹回例會を開き時々演說會講演會研究會等を開き其他適宜の方法により本會の主義思想を宣傳し其地方の風敎道德問題の爲に努力するの義務あるものとす

第十條　支部及分會は本部に對し運動の爲め講師其他の應援者を要求することを得
但之に要する實費は支部又は分會の負擔とす

第十一條　支部及分會の費用は其支部又は分會の負擔とす

Digitized by Google
Original from COLUMBIA UNIVERSITY

家庭生活の廓清

法學博士 添田壽一

□累卵の我が國家

今日の社會に於て最も缺如せるものは、自分自身に對する義務の觀念である。自分に對する責任を解せず又は之を忽せにする結果は、國家、社會、人生に對して責任あり價値ある生活をなし得ないのである。

自己に對する責任の第一歩に、己れの身體に傷をつけぬを孝の始めとすといふがある。此世の中に己の身體に傷をつけぬ者が幾人あるであらうか、己れ自ら故意に身體を弱くし、甚しきは自ら貴重なる生命を一片の露と消し去る者さへある。彼の日光華嚴の瀧はあれ程嚴重なる柵を圍らしてあるにも拘らず、それを飛び越えて迄も、人間としての借財即ち人生に對する義務を打捨て丶、瀧壺深く身を沈むる者が多いといふのは、如何に止むに止まれぬ事情ありとするも、不埒なる人生の反逆者とせねばならぬ。之れによりて有形無形の自己に對する責任が空しくされ、社會、國家に對する使命が失はれる。此の華嚴病や淺間病の如きは稍々極端なる事例であるが、要するに自己の肉體と精神とに對する責任觀念、義務の尊重といふ事に、今少し國民が留意するやうにならなければ、外觀は如何に華やかに見ゆるとも、其内容は空虚に非ずんば即ち羸弱、磐石一度加はれば累卵の潰ゆる如くなる虞れがある。殊に今日の婦人に於て此感を深うせざるを得ぬ。先づ第一體格に就て觀るに、内閣統計局の調査によれば我國青年女子の體質が年々歳々虚弱になつて行くといふ事である。我等もこれ等の事は日々目擊してゐる事實であるが、丁度日陰に育つた草のやうに、丈許り高くなつてヒヨロ〳〵した體質になつて來るといふのは、何を語るものであらうか、即ち之れは國家の將來を象徵するものではあるまいか、此儘此傾向が持續されて行くならば、國家は隆盛の域に進む譯には行かぬ。然るに此點を考へないで精神のみの脩養に偏するから益々虚弱の度が甚しくなるのである。身體は弱くとも學問だけは必要だといふ事は考へられぬ。今日の青年婦人の體質からいふならば、學問は要らぬ……といふのは極端に過ぎやうが身體の健全を圖る方が遙に急務で、國家の將來に就ても幸福である。我々男子は學問の爲め病氣になつた婦人を貰ふ事を躊躇する。身體の弱い者が如何に智略を圍らした處で家事が整つて行くものではない。女子の體格問題は閑却されたる處の重大なる問題と云はなければならぬ。

Digitized by Google
Original from COLUMBIA UNIVERSITY

□紊亂せる日本の家庭

第二は我等の婦人に望む處は家庭を重んじて貰ひたい事である。凡そ如何なる文明國でも家庭を重んじない國といふがあるべきではないが、我國近時の風潮を見るに、此の家庭を粗略にする傾向が著しく目立つ、男子は其家庭を重んぜずして外に向つて淫蕩する、婦人は亦其家庭を純潔にし趣味あるものとする力なくして、男が我儘をするなら、自分達もやらねば損だといふので五色の酒を飲むといふ樣な病的現象が段々瀰漫せんとしつゝある。一體彼の靑鞜社などゝいふのは私が英國に留學した當時即ち明治十七年頃彼地に流行したブリユーストッキングといふ婦人の團體があつて、靑い酒や赤い酒を呑み我儘勝手をした、それを今頃眞似たもので、以て覺醒せる婦人となし、時代に先んぜる婦人とするに至つては實に恐る可き風潮である。

斯くて風紀の頽廢は愈々甚しきを加へつゝある。元來我國程料理屋待合等の多い國は他國に其類を見出す事が出來ぬ日本人のつき物は藝妓である。大小の集會は此醜業婦なしには開かれない。故に日本人の海外發展にも必ず此等賤業婦が附隨するの陋態を示してゐる。今日排日熱の一原因も外人が神聖なる安息日とする其の日曜日と云へば日本人は藝妓を揚げて騷ぐ、彼が敎會に行きて精神修養をなす敬虔なる一日は我は酒に浸りて婦人を弄ぶ淫蕩の日である事が、其の動機の一たるは疑を容れぬ。私の宅なども以前は三味線の音が幽かに聞えた位であつたが、今ではもう近所へ其本物が攻めて來た。而も斯うした傾向は都會ばかりでなく、田舍でも同じ事で、これでは我國民が精神ばかりでなく肉體迄も惡くする事になるのである。

□人格者の眠る搖籃なし

然るに政治家が財政を論じ國防を說き、國力の發展を講じながら、此等男女の問題に觸るゝなきは、水源を究めずして末流を淸めんとするものである。今日の社會は皆根本問題に觸れずして徒らに目前の問題に騷擾する、政治家は黨爭を事とし、立憲政治の名あつて其實專制政治の觀あるが如き、皆國民の浮薄なると自己に對する責任を解せざるとにある。之はどうしても國民がもつと眞面目にならなければ眞の立憲政治は行はれない。今日の學者は世に媚びて學說を曲げ、今日の實業家は成金たらん事を欲して遠大の正利を思はない。

然らば健全なる國民を養成撫育するには如何にすればよいのであるかといふと、無論敎育は大切であるが最も根源となるものはやはり家庭である。家庭敎育が不完全であるならば完全なる人格が築き上げらる可き筈がない。而して此點に於て日本の家庭が亂雜で、決して人間の敎育場、道場たり得て居らぬ事は明かである。不良少年の輩出には適するが、大人格者の眠る可き搖籃はない。如何に善良なる敎育を學校に於て施しても、今日の家庭では其効果は擧げられない、其點に於て今日の敎育家は氣の毒な地位に置かれた者である。此の敎育上より見たる日本人の家庭生活は眞に今猛省を要すべき時機に立つて居ると思ふ。

Digitized by Google
Original from
COLUMBIA UNIVERSITY

□粉飾難贅費難のみ

然るに我國の婦人は虛弱な身體を有つて、藝妓輩と見境のつかぬ服裝をなし、自己の責任を辨へずして徒らに男女の同權をのみ主張せんとしてゐる。今の日本婦人の服裝は何たる態であらうか、金の指輪を嵌めて得意氣に見せびらかすなどは、日本の男子の多くは歐米邊の狀態をよく知らぬから良いが、彼の國では指輪を嵌めるといふならば少くとも千金二千金の價のものである、日本婦人が如何に綺羅を飾つたとて到底富の程度の違ふ彼國から見れば、其樣な事は觀るに忍びない情けない事であるから止めた方が良い、左樣な必要もない虛勢を張るより何故に此間新聞に出たやうなリデル孃の事業に後援をしてやらぬのであるか。日本人が外國人の世話になつて其世話する人の苦境を一顧もしないで、如何に金の指輪を嵌めた處で何の誇る可き處かある。

左樣に必要もない虛勢を張つて居るにも拘らず生活難が激しい抔と、政府に楯ついたり世を呪つたりして愚痴たら／＼食ふに困るからとて內職する杯は愚も亦極まれりで內職するよりは先づ藝妓の樣な服裝を矯めるに努めなければならぬ。夫れでも生活し得ぬのが眞の生活難である。今日の生活難は未だ／＼眞の生活難でなく、服裝粉飾難、冗費過剩難である

□根本は家庭の廓清

今回の大戰亂は我國をして益々世界の注目する處となして來た。我が日本國の軍事上の智識卽ち軍略の如何に他國に對して優秀であるかは世界各國人の賞揚し居る處である、我國には二十七八年と三十七八年の二大戰によつて、今や世界の冠たる概が軍事上に認められ來つた。此の際國威の發揚と共に國民も優秀なる點を認められなければならぬ、けれども悲しい哉國民はさう認られて居らないのである。洵に不可思議な事と謂はねばならないけれども、事實の上に徵して國威の發揚と國民の品性とが相伴はぬを如何せんである。夫れには如何しても此誤れる婦人の思想をして、正當なる方面に導いて行かねばならぬ。男子は婦人の人格を尊重し、婦人は亦婦人自身の責任をして完全に果して貰ふやうに切に願ふのである徒らに歐米各國の變態的の有樣を見て其儘取つて以つて受け入れやう抔とする誤解を去り、眞實なる自覺した婦人になつて貰ひたいのである。無暗に外に出て働きたがる弊を去り先づ第一に家庭を廓清し、己が家庭の責任を完ふし然る後働きたいならば、外に出て働くやうにしたい。家庭を捨てゝ決して社會事業は出來る者ではない。家庭のない婦人の言行は餘り社會に反響があるものではない。矢張り第二の國民を養育し然る後餘裕を得て爲す可きである、されば社會は其人格に何でも斯うでも推服するであらうと思ふ。問題の根本は家庭の廓清から始まらなくてはならぬ。

最後に申す事は我國の婦人の後には多くの見物人が居る事である。日本人の地位が此戰爭に依つて許りでなく、如何に上るか又は下がると注目して居る見物人が多い。又之れを手本として眞似やうとする婦人が何程の數である事を忘れてはならぬ。

Digitized by Google
Original from
COLUMBIA UNIVERSITY

大正五年の歐米婦人運動

高野礦油會社長　高野重三

□婦人問題の起原

歐米に於ける昨年度の婦人運動の概況を叙する前に、同地に於ける該運動の由來を略說する事は、讀者の便宜であらうと思ふから、其の大略を左に述ぶる事にする。

よく婦人論者が奇拔な云ひ方をして『婦人運動はアダムとイーヴがエデンの樂園に於て生活せる其時より起つてゐる』と稱する者があるが、なる程イーヴはアダムを慰むる爲めに神が創造したと考へる事は、男性中心說の窓によき根源であり、又イーヴが蛇の言葉に從つて智慧の木の實をアダムに食べさした爲めに、此地上に罪惡なるものが起つたと說いてある事から考ふれば、女性が此地上に於ける罪惡の根本であるといふ一種の婦人觀も起る譯であるから、此等の點より考へて、婦人問題はアダムとイーヴの樂園に於ける時代より起つたと、說けば說けぬ事もないが、若し果して此の樣なる說き方が正しいといふならば、我國に於ても亦婦人問題は天照皇大神宮を始め、其他の神々に關する神話の時代より起るべきものといふ事も出來るのである。何となれば天照皇大神は女性に座して、而も其當時に於て我種族の頭であらせられ、又其後屡々女性が天子の位に上られた事から考へて、女性と政治といふ問題に論究するとも出來、又天照皇大神が其弟の素盞男命に訪はれし時、機を織つて居られたといふ神話があるが、此事實は婦人の職業といふ問題に餘程面白い光りを與へる事になるのであつて、之等の事實から考へても、前にいふが如く我國に於ける婦人問題は、遙けき神話の時代より既に起つて居つたともいふとが出來るかも知れない。

併し乍ら斯くの如きは、單に言葉の文を飾つて云つて居る事であつて、婦人問題に關聯せしめ得らるゝ事實は此時代にもあつたとしても、今日我等が理解して居る處の婦人問題乃至婦人運動と稱する形式を供へた議論若くは運動は、決して大古の時代にはなかつたのである。

□最初の婦人論

けれども隨分古い時代から婦人論がなかつたでもない、たとへばグレシャの哲學者プレトーが、其のレポブリック（共和政體）と稱する書物の中に左の如き事を云つて居る。

『男女は其分量こそ多少の差はあれども、同じ共通したる性質を有してゐるものであつて、既に其の同じ性質を互に

共有してゐる以上は、男女の性の區別によつて、其の執る可き職務若くば職業を異にすべき謂はれはない。犬の雌雄が雄は獵に用ひ或は羊の群を守る爲めに專ら使用され、雌は仔を產む爲めに常に一處に閑居せしめなければならぬと誰も云はないのである。狩獵にしろ牧羊にしろ、雌雄によりて犬の働きが異らざる如く、人も亦男は子を植え女は子を生む、其働きは各異つて居ると雖其他の働きに於ては男女によつて區別をなすべきものでない。譬へば國家のことに關する働きにしても、男女共に其天より與へられたる技能により、各其の國家の爲めに力を盡すべきである。」斯かる議論は、殆んど近世の歐米に於ける婦人運動者の常に口に唱へ筆に書く處のものである。それが二千三百有餘年の古に於て、グレシャの一哲學者によつて唱へられた事は、實に驚嘆に値する。

けれどもプレトーの議論を以て直に婦人論が唱へられたとも考へる事は出來ないし、又彼が婦人運動をなせしとも稱する事は出來ないのであつて、其時代より殆んど二十有餘年の間は歐米に於ては何等婦人運動は企てられなかつたと云つても差支ない。尤も十七世紀の末葉英國に於てアステルと稱する婦人が、今日より見れば頗る幼稚なる婦人論を書いた事があり、又十八世紀の終りに於て、同じ英國の婦人ウオルストンクラフトと稱するものが、婦人權利の主張といふを本を著はして、大に婦人の爲めに氣を吐いたのであるが、未だ其時代に於て、今日の如き盛んなる婦人論は、英國民一般の間に於て唱へられなかつたのである。

エレン・ケイ女史

パンカースト夫人

□婦人の獨立と教育の解放

其の時代佛蘭西に於ては、自由、平等、博愛の主義に基ける、大革命が起り、從つて深甚なる影響を歐洲の思想界に及ぼし、同時に從來家庭內に於て行はれし婦人の働きが蒸汽其他の機械の發明によつて漸次工場に於てなさるゝ樣になり、勢ひ婦人は家庭を出で此等の工場を追ふて多くの工場に働く事になつた。卽ち玆に殖產工業の世界に一大革命を起す事となり、婦人職業の問題が從ひ起つたのである。且つ婦人が今日迄、男子に寄生して其の一生の安全を圖つて居つたものが、玆に經濟上の獨立をなして、自ら其身を支持するのみならず、更に其働きによつて已が夫を助け、已が子女を自ら養育して行く事の實力を得る事になつて、男女間に於ける關係が著しく變化する事となつたのである。此れに續いて婦人の普通教育、更に進んで高等教育なるものが喧すしく唱へらるゝ事となり、啻に婦人の爲めにのみ學校が設立さる

ゝのみならず、男子の學び居れる高等學校若くば大學の門戸も、十九世紀の後半期に於て開かるゝ事となつて、歐米に於て盛んに婦人の教育といふものが行はれるに至つた。
此の婦人の經濟上の獨立と、高等教育の開放との二つが、大なる影響を彼地婦人の生活及び思想上に及ぼして、刻々婦人の自覺、覺醒を促す事となつたのである。

□母性擁護の運動

而して此の自覺、覺醒が、理は一なれども年所を經るに從ふて二つの異つたる潮流に分たれる事となつた。其一つは専ら歐洲の大陸に行はれてゐる婦人運動で卽ち母性擁護と稱するものである。又今一つは英米二國に専ら行はれてゐる、婦人參政權運動である。

歐洲大陸に於ける母性擁護の運動は主として、スウエデンの女流思想家エレンケイによつて動かされ、又指導された、其の最も論ずる處は、男女間の戀愛と結婚問題であつて、其說に從へば男女間の結婚は舊來の如く社會の傳說だの因習だのに基ける種々なる形式によるべきものでなくて、純なる戀愛に其基礎を置かなければならぬと稱するのである。言ひ換へれば、戀愛なき結婚は不道德である。たとひ形式に據らずとも純なる戀愛の結合は最も道德的のものであるといふの見地から男女間のニューモーラルチイ(新道德)が唱へられ、而して其の極端なるものに至つては、最も放縱なる自由戀愛說が主張される事になつたのである。

フォーセット夫人

□參政權獲得運動

翻つて英米各國に於ける婦人運動を探究して見るに、婦人は女性であると同時に、男子同樣人間である。既に人間である以上、男子と均等なる機會を要求するは當然であつて、婦人の職業及び高等教育は稍其の目的を達するに近づいて來た

而して均等なる機會の表現の極致である參政權を、婦人も男子同樣得なければならぬといふのが、英米に於ける婦人論者の主張である。

之れには英國に於ては最も穩和な手段によつて其目的を達せんとして居るフォーセット夫人を首領とする一大團體もあつて、ジョン、スチユーワルト、ミルガ婦人にも男子同樣參政權を獲得せしめねばならないと論じ、且つ其の運動を始め其後婦人中の熱心家は元より男子間の婦人同情者も、フォーセット夫人等の一味と共に種々運動を英國の政界に於て試みたのであるが最も保守的なる國柄たる英國に於ては、其進歩誠に遲々として振はず、遂に極めて過激なるパンカースト一派の婦人をして激昂措く能はざらしめ、ミリタンシー(戰鬪的婦人運動)を始めてありとあらゆる亂暴狼籍を働いて、其目的を達せんと圖るに至らしめたのである。

Digitized by Google Original from COLUMBIA UNIVERSITY

然るに米國に於ては英國と異り、國人皆進取の氣象に富み專ら新奇なる事を好む國情の然らしめたるものにや、英國に比しては米國に於ける婦人參政權運動は頗る順調に進みつゝあつて、近年に至り合衆國四十八州の內、年に一州や二州は必ず婦人に參政權を與ふるの州が起りつゝある。

□戰亂中の歐羅巴婦人

之れが戰爭前迄の歐洲大陸及び英米二國に於ける婦人運動の狀態であつた。然るに歐洲の大戰亂が突發して以來、歐洲に於ける婦人運動は一時中止の姿となつたのである。男子といふ男子は、何れも皆戰場に馳せ向つて、今日迄男子のなし來つたすべての勞働は、留守を守れる老弱の婦人によつて爲される事になつた。戰前迄は我國に於けるが如く、歐洲に於ても男子は專ら社會に出で丶活動し、婦人は家庭に止まりて家を守り、子女を養育して行く事が婦人の職務であるかの如く論せられて居つたが、戰爭は婦人をして男子の從來執り來つた凡ての勞働に從事すべく餘儀なくせらる丶事となつた、戰前の如く婦人が職業や勞働に從事する事は婦人の性を矯め其の美質を損するものであるといふ様な議論は、最早唱へられなくなつて來て、

最近に於ける倫敦の婦人運動

佛蘭西に於ても獨逸に於ても、各其兵力の強き原因は種々雜多であるが、其の一大原因は男子が戰場で如何に活動するとも、婦人が留守し勞働し、何等後顧の憂なからしむるでないならば、今日あるを得ぬ。英國に於ても婦人の後方勤務の其勞働がなかつたら、とても英國の海陸軍が今日の如く華々しく活動する事は出來ぬといふ事は、朝野の等しく認むる處である。其の婦人が國家危急の時に際して如何に偉大なる働きをなしつ丶あるかは、最早誰も否む事が出來なくなつて、其働きの報酬としても、權利としても、戰後は最早婦人に參政權を拒む事は出來ないと、從來最も頑強に其の運動に反對したる政治家も之に贊成して、これ迄己が意見の誤つて居つた事を公に告白して止まないものも餘程多く英國の政治家の內にある樣になつたのである。而も其の狀勢が昨年になつて最も著しく英國の政界に表はれる事になつたのである。

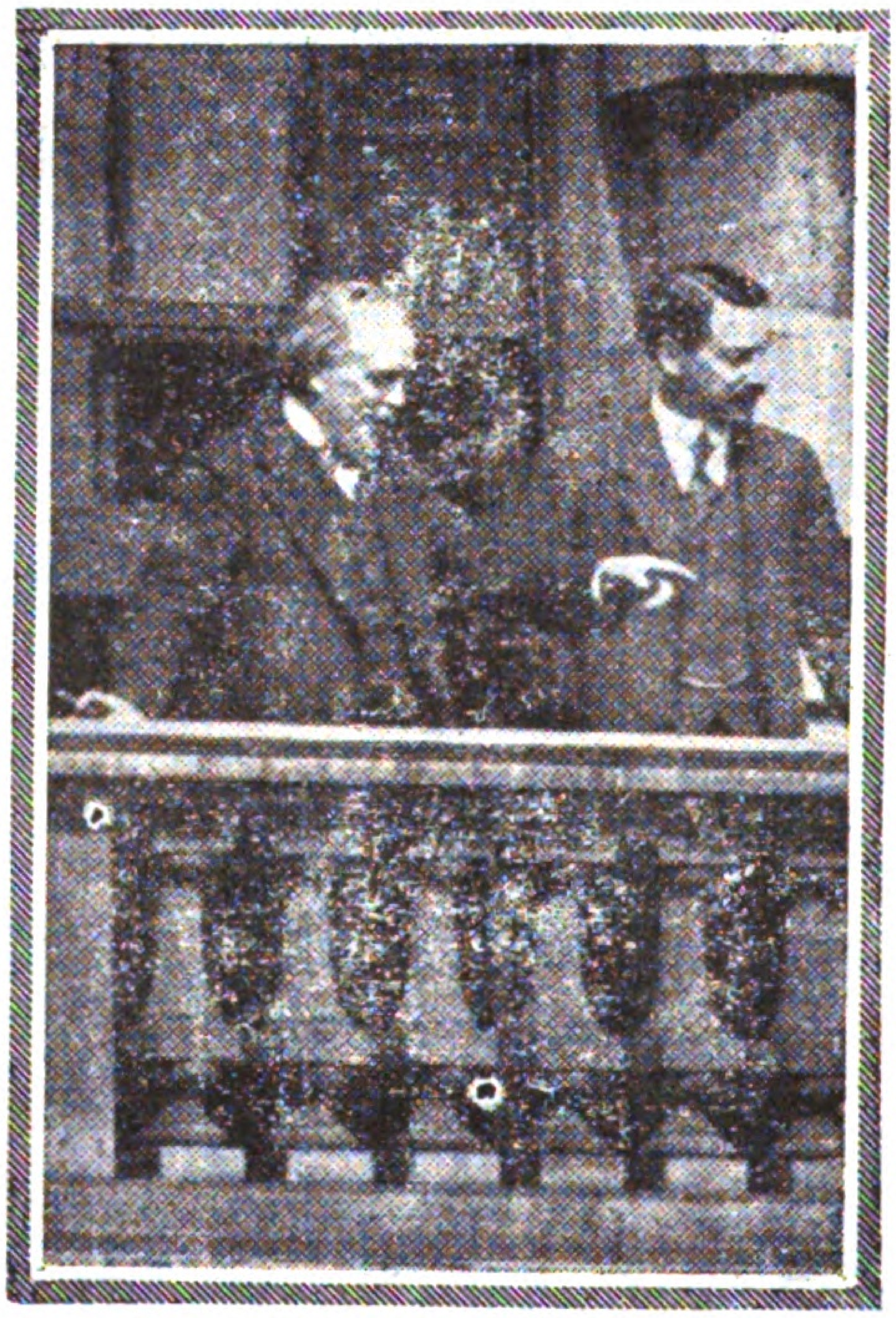
□米國婦人運動の近狀

米國に於ては直接戰爭には男女とも從事はして居らないけれども、婦人運動は歐洲大陸及び英國に於て戰爭の爲め一時中止せられしにも不拘、米國に於ては其の運動が益々擴張され、昨年度に於ては其勢ひは最も強大にして、たとへば昨年の秋の米國大統領の總選擧

の時に當つて、米國婦人參政權同盟の首領たるキャット夫人が、米國政界兩黨の候補者たるウィルソン及びヒューズの二氏に向つて、婦人參政權に對し聯邦政府の憲法を改正するの意ありや否やといふの質問を、四百萬の婦人有權者に代り質問し、其の回答の模樣によつて四百萬の婦人の投票を其候補者に與ふるとも、與へざるとも決せんとするの色を示したのであつたが、ウィルソンも亦ヒューズも兩方とも婦人の參政權獲得に贊成の意を表した。ウィルソン氏は此の問題は先以て四十八州の州だけで、各豫め決すべき問題であつて聯邦の憲法を改正して之を中央政府より各州に命令すべき性質のものでないと答へ、ヒューズ氏は斯かる問題をいつ迄も解決せずして常に米國の政界の煩らひを醸すは甚だ不利の事であるから、一層の事聯邦の憲法を直に改正すべきであると唱へ、兩候補者其形式に於ては稍異つて居つたけれども、其の參政權の獲得には厚き贊成と同情とを表したのは一であつた。

こは米國の歷史に於て未だ嘗てあらざる事柄であつて、婦人の側に於ては空前の勝利と云はなければならぬのである。

□米國婦人運動の影響



婦人運動を歡迎せるロイドジヨーヂ

而して昨年の秋催されたる米國の婦人參政權運動者の大會に於て、其の目的を達する爲め、會長キャット夫人が百萬弗の寄附金を其大會に向つて求めたる處、僅か二十分間經つや經たぬに、其席に列なれる婦人連中の寄附申出額は、實に八十萬弗を超へたといふ事である。以て其勢ひの如何に强大であるかを知るに餘りあると思ふ。

大統領選擧の結果はウィルソン氏の勝利に歸したが、氏の得票は米國西部が最も多く氏に投じたからであつて、而も此等は皆其州に於ける婦人の盡力の結果が多きに居ると云はて居るのである。

先日は又モンタナ洲より、ランキンと稱する婦人が遂に米國中央政府の洲議院の議員に選擧されて米國の政界に一新時期を劃したとは讀者の皆知らるゝ處であらう。

斯くの如く合衆國に於ける婦人の參政權運動は、旭日の登るが如き勢を以て進歩しつゝある。其影響は著しく其北隣の英領加奈太に及び、同國西部のサスカチヤワ、マニトバ、メルボルタ、及びブリチッシ、コロンビアの四洲は、昨年一ヶ年内に相次いで婦人に參政權を與へたのである。之れによつて見るも北米に於ける婦人運動が如何に盛であるかを知るに足ると思ふ。而して此等の影響は更に戰後の英國及び歐羅巴に及ぼすはいふ迄もない。

Digitized by Google　Original from COLUMBIA UNIVERSITY

帝國憲政の進歩乎

大阪毎日新聞政治部長　高石眞五郎

飛田遊廓設置反對に就き、目下恰も開會中なる府會に於て市民諸君の代表者たる議員諸君が、一糸紊れず結束して府知事に當つて居らるゝ瀬戸際であるから、此際尚一層の輿論を喚起する必要があると思ふ。自分は從來風教問題に就て演壇等に立つて呼號した事がないのを遺憾とするものである。けれども今や默々乎とするに忍びず敢て一言申したい。

□遊廓新設と共に風教問題

抑も該問題に就ては今更喋々の辯を要する迄もなく、其指定地の調査の杜撰疎漏なりし事は沙汰の限りであるが、其當時法律上當然無効たる可き指定地の許可申請を爲せる際、水野府會副議長の一派の醜類が漸々として府廳に出沒し、當局に陳情請願等を爲したのであつた。加も其出沒たるや實に巧妙であつて、平生廳内詰切りの新聞記者にさへ感付かれぬやうに、充分の隙を窺つて或日密かに一室内に警察部長と肱を交へ、種々其間密議を凝らした事があつたのである。啻に僅少なる日數でなく、度々會合したのは洵に掩ふ能はざる事實である。如斯該指定地許可に就ては、其後影に最も暗膽たる者があるにも係らず、當局は今尚之れを曖昧の裡に葬り去らんとするは甚だ其人自身に取つても、又社會全般からも將來の風紀上に重大なる關係があるのは爭はれない事である。

□學校存在の意義失はる

遊廓設置に對する市の風教上に就ては屢々本誌上に於て、諸氏の述ぶ處多かりしを以て茲に其詳細を略すけれども、江戸時代の市制が如何に遊廓を排斥し、以つて善良なる市民と隔離せんとする其苦心せる事跡は、今尚ほ歷々乎として存在し居るのにも係らず、人文彌が上に發達せる現今の新進當局が、何故か昔日の苦心を顧みなかつたであらう。江戸當時の町奉行をして今日此問題に就き聞くならば、必ず當局者の無稽の暴擧を冷罵嘲笑、實に當局者たる者顏色なき程であつたに違ひない。加之吾が大阪市に於ける今回の問題たる飛田は、市民全體の精神上に如何なる惡感化を蒙る可きかは、天王寺の公園あり公私學校ありて謂はゞ市民の善良なる風紀と、善良なる市民の養成區域たる地なるに、其處に不淨極まる遊廓が新設せらるゝならば、畢竟學校存在するありて其存在の價値なく、故に學校なし遊廓なしといふ事ゝなるであらうと思ふ。否寧ろ學校の存在は却つて其趣旨に反する結果と

Digitized by Google　Original from COLUMBIA UNIVERSITY

なるから、悲しい哉學校を廢止した方が良結果であるといふ文明の今日の貴重なる者も無益となるに至るのである。

□次回の選擧は充分の留意

然らば如何にして、之が設置を取消すべきかといふに、諸君も既知の通り府會には刷新、豫選の兩派の存するありて、此等市民を代表する議員の嚮背如何に依りて、自ら此問題も取消と否との運命を決せらるゝのである。則ち諸君が正義に據れる議員に後援を爲すと同時に、何處迄も强硬なる態度を以つて飽く迄民論を喚起し、極力之れが取消運動の擧に出づれば期せずして、該問題も解決の端緒を開くに至るのである。それに就きては最も重要なる事柄は、目下に於ける中立派議員の行動に就き、嚴重に之を監視する事である。何となれば彼等觀望派の多くは、輿論の强硬なる態度、而して極めて眞摯なる氣勢の在する處に、初めて進退去就を決するのであるから、一面に於て豫選派と稱する醜議員の選擧に懲りた市民各自は、次回選擧には必ず市民に泥を塗るやうな、議員を選擧してはならぬ。國家の參政權、投票權を飽く迄尊重し斷じて彼等醜議員の爲めに一票の助けをもしてはならぬ。尙定めて今回の問題に依つて斯く信じ居るであらうけれども、此上とも一層の決心と覺悟を持つ事の肝要であるを述て置く

□醜議員は前非を悔ゆる乎

要するに市民諸君は府會議員を鞭撻すべき重大なる責任を有し乍ら、動もすれば中立派をして其嚮ふ處に就き其が目標を指摘せざるは、畢竟市民諸君の鞭撻の宜敷を得ざるのみならず、其目的に添ふ能はざらしめざるは甚だ遺憾至極で、市民にも其罪ありと謂はなくてはならぬ。

惟ふに水野副議長は早晩辭職するの外なからんが、頃日豫選派議員は其數の多きを恃み、刷新派議員より當然提出すべき不信任案を撤回すべく、種々なる手段方法を繞し泣き込みたる如きは、明かに民論を怖れたるの外ならず、何となれば該不信任案の理由に就き說明するに至らば、其内部の醜事は恰も晴天に土龍の拋り出されたるが如く、周章狼狽の態體を忌憚なく社會に暴露し、爲めに市民より彈劾さるゝ虞れあるを裏書せるものにて、民論の如何に潜勢力あるかは此一事に徵するも歷然たるのである。事情如斯なるにも係らず尙ほ己の良心に恥ちず、東奔西走其罪を何物にか附會せんとするが如き嫌あるは、蓋し彼等醜議員は前非を悔ひたる者、尙更此際潔よく之れが取消に贊成す可きである。

□日本帝國憲政の進步

先頃米國の或新聞が『日本の憲政の進步』と題し『其昔は官憲の風紀を紊亂する施政の下にありても、日本國民は夫等に就て何等關する事なく、互に默々乎として服從し來りたるものなりしが、時代の變遷、文明の進步發達は、如斯服從し來れる國民も今や侃々として其是非を論じ、大に爲政者に向つて鞭撻肉迫する處あるは、確に日本國民思想上に於ける憲政の進步、殊に風紀上に於ての改善等に到つて輿論を喚起するが如き』云々と評論を試みたる如きに徵しても、次回選擧に於ける醜類議員の選擧は斷じて止めて貰いたいのである。

Digitized by Google
Original from COLUMBIA UNIVERSITY

活動寫眞に關する調査（一）

ドクトル　三田谷　啓

□緒言

活動寫眞の發明は千八百九十六年のことで、今日まで漸く二十年を經たに過ぎぬ。然るに其發達は眞に著しいものである。實に世界の到る處に於て活動寫眞は歡迎を受けつゝあるのである。何故に活動寫眞が他の娛樂機關を壓する程の勢で今日の如く進んで來たのであらうか。それには次の如き原因があるであらう。

一、活動寫眞は各事件が目のあたり迅速に展開して行くこと

一、活動寫眞は眞を映すにより實物の觀あること

一、觀客の好奇心及び知識慾を滿足させること

一、活動寫眞は觀覽料比較的廉價なること

活動寫眞の恩澤は諸種の方面より大したものである。併し同時に之を惡用すれば著しい弊害を見るのである。予は主として我國の活動寫眞と兒童教育又は社會的兒童保護の關係を見んとして不十分ながら材料を聊か集めて見た。予が不十分の材料をも顧みず之を報告する所以の者は社會が餘りに兒童の保護を忽諸に附して居る點を指摘したいと思ふからである。之によりて識者の同情を得、社會の注目を促し得んとは余の希望する處である。

□活動寫眞の勢力

活動寫眞が著しき勢力を以て他の興行を壓倒してまでも擴張して行くのは人類の弱點をうまく利用するからである。これは日本だけではない。何れの國に於ても同一の事實である。誰人も手輕に一寸見ることの出來るのが活動寫眞の盛になる一要素である。歐米にて行はるゝ活動寫眞のうちには數千人の役者を用ひて、大仕掛に歷史ものなどを仕組んだものもある。しかし人情物と滑稽物が大部分を占めて居て、教訓的のもの又は普通知識を增すための用意は殆んど出來て居らぬ。これが矢張り一般の觀客を引きつける方法なのである。三時間も四時間もフイルムを見續けて居ながら別に何にも利益を得ない。夫でも爭ふ如くにして觀に行く。人情は面白いものである。

□活動寫眞館

予は我國各地に於ける活動寫眞館の數を調査せんため當該警察署の手を煩した。左に其一班を示すことにする。

活動寫眞館の數	都市名
一個所	豐橋市　堺市
二個所	熊本市　門司市　和歌山市　德島市
三個所	廣島市　富山市　小樽區　仙臺市　岡山市　吳市
四個所	長崎市　靜岡市　下關市　新潟市

Digitized by Google　Original from COLUMBIA UNIVERSITY

五　個　所　金澤市　神戸市
六　個　所　福岡市　名古屋市
七　個　所　函館區　横濱市
十　個　所　京都市
二十三個所　大阪市
五十八個所　東京市

右は大正四年五月の調査である。只東京市のみは大正四年十一月の調査に係るものである。

活動寫眞が都市の位置によりて其數を異にせるは客を相手にせる以上當然のことである。試に大阪市の例をとれば如次。

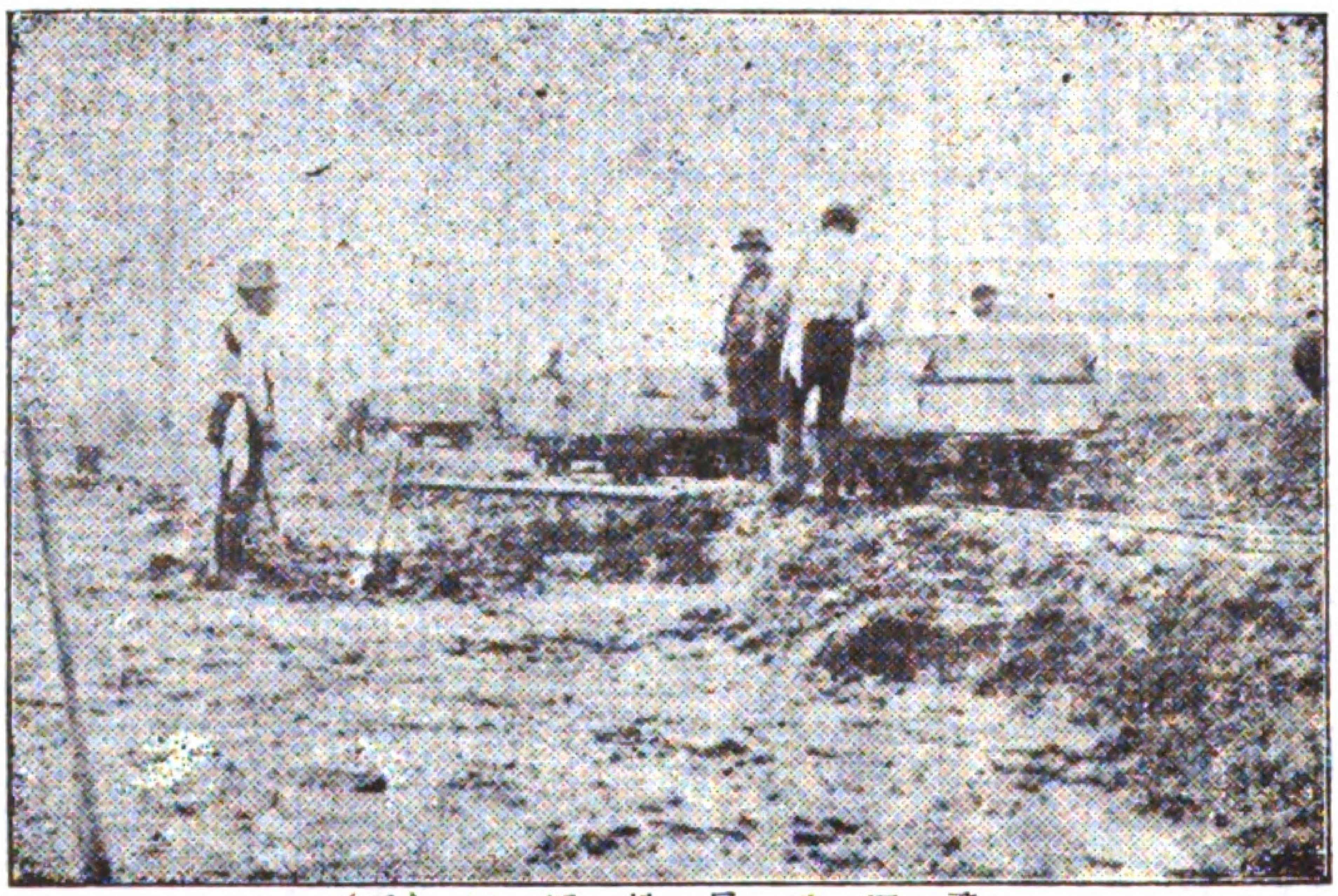
東區にあるもの　五　西區にあるもの　五
南區にあるもの　十　北區にあるもの　三

東京市各區に於ける活動寫眞館の數は左の如し。

區	活動寫眞館の數	區	活動寫眞館の數
本郷區	三	牛込區	四
小石川區	三	京橋區	五
麹町區	一	四谷區	二
赤阪區	三	芝區	四
深川區	三	日本橋區	二
神田區	三	本所區	四
淺草區	一四	下谷區	四
麻布區	三		

活動寫眞館と人口との比例を見るは面白きことなれど、詳細の統計は擧ぐることを得ぬ。今假に大阪市の人口を百五十萬人とすると活動寫眞館一個と市民六萬五千人と比例する。京都市人口を假に五十萬とすれば右の比例は五萬人となる。堺市は約七萬の人口で活動寫眞が一個所ある

寶殿は着々建設の準備を急ぎつゝある



飛田指定地近狀（二）

□兒童と活動寫眞

兒童が活動寫眞に入場する數如何。これ予が調査せんとする處の骨子である。

そこで予はこれに加ふるに向ほ數個の條項を指摘し、一方には警察署の手を煩し他の一方には寫眞館へ直接照會した。照會の條件は次の如くである。

毎日の平均入場者數（大人と小人）
何歳までを子供として取扱ふや
開館時間
日曜及び祭日の平均入場者數
如何なる種類のフイルムが大人を最もよく喜ばすか
如何なる種類のフイルムが子供を最もよく喜ばすか
子供中最も多く入場するは何歳位か
映畫の種類如何（最も多く用ひらるものゝ順より示す）
一日何回づゝ入換をなすや
活動寫眞を見たるために特別の出來事あらざりしか（犯罪自殺等）若しあれば兒童の年齢、フイルムの種類、兒童の行狀等詳細のこと
フイルム取締に關する警察の處置

今警察署の手を煩したもの（甲）と、直接活動寫眞館へ照會せしもの（乙）との二つに區別して左に其成績を示して見たいと思ふ。

Digitized by Google　Original from COLUMBIA UNIVERSITY

甲表

調事項／活動寫眞館名		毎日平均入場者數 大人	毎日平均入場者數 小人	何歳までを子供として取扱ふや	開館時間（自午前時 至午後時）	日曜及祭日の平均入場者數 大人	日曜及祭日の平均入場者數 小人	如何なる種類のフイルムが大人を最もよく喜こばすか	如何なる種類のフイルムが子供を最もよく喜こばすか	子供の中最も多く入場するは何歳位なるや	映畫の種類如何多く用ひらるゝ物の順により記載す	一日何回づゝ入換をなすや	活動寫眞を見たる兒童に特別の出來事あらざりしや（犯罪自殺等）若し
金澤市△	スメル館	四八二	二六六	七歳以下無料七―一四歳半額	自後二 至後一一	一、四八八	一、〇五八	悲 探	舊 滑	三 三歳	實、滑、新、悲、舊、探、正	二	出來ご
	第一菊水クラブ	二五〇	一〇〇	同上	自後二 至後一〇、四〇	五〇〇	二五〇	同上	滑西探	同上	實、滑、新、悲、舊、探、西、正、	二	同上
	大手館	四七〇	二六〇	同上	自後三 至後一一	六五〇	三〇〇	悲	活	同上	各國風景、實寫、悲、活	二	同上
	第二菊水クラブ	四〇四	二三〇	同上	自後一 至後一一	六〇〇	三〇〇	同上	活、喜	一四―一五歳	悲、活、	二	同上
岡山市×	岡山クラブ	二六〇	二五〇	三歳迄	自正午 自後一一	五五〇	八二〇	忠信義士傳	奇拔のもの	三―三歳	日、舊、西、日新、	平一 祭日二	同上
	世界館	二〇〇	一五〇	一五以下軍學子供と同じ	同上	二五〇	三〇〇	舊	滑、實	一〇―一四歳	新、舊、西、悲、滑、實、	同上	同上
長崎市	大正館	三四三	九五	一五	自後六 至後一一	四五八	二三八	接舊時	西活 日舊	一三―一四歳	新舊 日西	平、土 一 祭日 二	同上
	電氣館	四〇〇	三〇	一三	同上	八〇〇	二三八	同上	同上	同上	同上	同上	同上
	喜樂館	五三五	一三二	一四	同上	九六二	二九八	同上	同上	同上	同上	同上	同上
	朝日館	一三一	四七	一五	同上	四八五	二六三	同上	同上	同上	同上	同上	同上
	敷島館	二〇〇	五〇	一三	自後七 至後一一	二五〇	一二〇	新 悲	喜 滑	同上	同上	同上	同上
	朝日館	二〇〇	六〇	同上	同上	二五〇	一〇〇	同上	同上	同上	同上	同上	同上
	占勝館	二九〇	一一〇	同上	同上	一七〇	三〇〇	同上	同上	同上	同上	同上	同上
名古屋市	太陽館	二五〇	五〇	一四	自後〇 自後一一	五〇〇	三五〇	西文 活	西喜	三―三歳	喜、實、人、活、	二	大正元年十二月十八日名古屋市中區榎町六番地秋田金太郎（明治三十一年九月生）太陽館には強盜
	文明館	四〇〇	二〇〇	一四	自後一、三〇 至後一〇、三〇	八〇〇	六〇〇	舊活	西活	一四―一五歳	舊、喜、人、新、	同上	
	電氣館	三三〇	八〇	一四	自後〇 至後一一	五〇〇	七〇〇	舊人	西活	二―二歳	舊、喜、實、人、新、	同上	
	世界館	四〇〇	一〇〇	一四	自後〇 至後一一	八〇〇	二〇〇	西活	西活	三―三歳	實、喜、悲、活、人、	同上	

Digitized by Google
Original from
COLUMBIA UNIVERSITY

あれば兒童の年齢、フィルムの種類、兒童の行爲等詳細のこと	フィルム取締に關する警察の處置	調査時日
なし	寫眞取換毎に筋書を出し興行開始前に於て警部補をして立會臨監せしめ筋書及び影畫の實見及辯士の説明を調査す	大正四年七月
	豫め映畫の檢査をなす映寫中時に巡査を派して取締らしむ	同上
	警部補又は巡査部長をして時々檢査をなさしめ不都合なしと認むるものにつき許可す	大正四年六月
殺人の活動寫眞を見し動機により強盜未遂を犯し三年間起訴猶豫の處分を受けたることあり	定日にフィルムの檢査を施行し公安風俗、其他弊害あるものは禁止せしむ	大正四年七月

（註　△外にキンシ館あり。調査當時休業のため材料を缺く。
×外に帝國館あり。休業中。
略字解　悲＝悲劇、探＝探偵劇、舊＝舊劇＝滑、滑稽劇、實＝實寫、新悲＝新派悲劇、正＝正劇、西探＝西洋探偵劇、舊探＝舊派探偵劇、西正＝西洋正劇、日舊＝日本舊劇、日新＝日本新派劇、西活＝西洋活劇、新舊日＝新舊日本劇、西＝西洋劇、喜＝喜劇、西文＝西洋文藝劇、人＝人情劇、軍學＝軍人學生

甲表によつて見ると活動寫眞館へ入場する兒童の數と大人の數と比較するに著しく其程度を異にして居る。最も小兒として取扱ふ年齢にも多少の差はある。即ち十二歳までを小兒として取扱ふのが最も低年のものである。他は大抵十三、四歳であるから要するところ大差はないと見てよい。

金澤市及び岡山市では小兒の入場者が大人に比して半數以上（金澤第一菊水倶樂部除外）を占めて居る。殊に岡山市に於て最も著しい。即ち岡山クラブに於て大人の二百八十人に對する小兒二百五十、世界館の大人二百人に對する小兒百五十人を示して居るのである。此關係は又日曜祭日等に於て著しく高調し、大人の入場者よりも小人の入場者の方が多い（岡山市）。長崎市及び名古屋市に於ては小兒入場者數は大人の半數に充たぬ。（名古屋文明館は除外）。しかしこれ等の都市にありても日曜祭日には小兒の入場者數が大人の數に比して著しく増加して來る。

以上四都市の活動寫眞館に於ける調査を基として論ずると活動寫眞館入場者數は大人に比し小兒は可なり多い。甚だしきは半數以上に及び日曜祭日には却て小兒入場者の方が大人の數より多くなるを見る處すら稀で無いのである。

右の表は一日平均の數であるが、それを見ても如何に多くの兒童が活動寫眞館に出入せるかを窺ふことが出來るのである。如何なる種類のフィルムが大人及び小兒を最もよく喜ばせるかの問題に就て右の材料にて詳しく證明することは出來ない。しかし大人が割合に好んで悲劇を見、小兒が喜劇、滑稽劇を愛して見ることは心理上から言つても當然のことである。

乙表は前にも言へる如く活動寫眞館へ直接照會して得たるものを表記したものである。今參考に供する目的で其儘表を左に掲げることにする。

Digitized by Google
Original from COLUMBIA UNIVERSITY

乙 表

活動寫眞館名		毎日平均入場者數 大人	毎日平均入場者數 小人	何歳までを子供として取扱ふや	開館時間(自午前時 至午後時)	日曜及祭日の平均入場者數 大人	日曜及祭日の平均入場者數 小人	如何なる種類のフィルムが大人を最もよく喜こばすか	如何なる種類のフィルムが子供を最もよく喜こばすか	子供の中最も多く入場するは何歳位なるや	映畫の種類如何多く用ひらるゝものゝ順により記載す	一日何回づゝ入換をなすや	活動寫眞を見たる兒童に特別の出來事あらざりしや(犯罪自殺等)若しあれば兒
大阪	T	三五〇	一三〇	一四歳	前一一 後一一	一五〇〇	七五〇	人情劇	實寫及史劇	十二、三歳	活劇	二乃至三	史劇殊に仇劇は兒童
	G	三〇〇	一〇〇	一三歳	後一 後一一	五〇〇	三〇〇	活、情、悲劇、	活劇、滑稽、	十二—十六歳	實、滑、喜、活、悲劇、	二	芝居及戰爭の眞似、
	S	一三〇	三〇	一四歳	前一一 後一一	三〇〇〇	八〇〇	人情 活劇	飛行機、探偵、武勇	十一—十四歳	滑、實、活、連鎖、	二—三	
	O	大小	計一三五〇〇	七歳以下無料	同上	計	六〇〇〇	活	右同	九歳前後	實、滑、劇、	二	フイルムは勸善懲惡
	M	二〇〇	七〇	一三以下	—	一〇〇〇	五〇〇	悲劇	西洋物	十歳前後	泰西活、悲、人情、滑、實、	三	なし
京都	T	—	—	—	—	—	—	勇壯 快濶	同右 忠義	十二—十四歳	教育、實、西、日舊、	三	
	S	一五〇〇	五〇〇	一三迄	後一 後一〇半	三〇〇〇	一五〇〇	探偵 軍事	寬滑 軍事	十二—十七歳	—	日、祭は四、平日三	
	Si	一六〇〇	四〇〇	一三迄	後一 後一〇	三五〇〇	一〇〇〇	舊、復、探、社、	舊、仇、探、活、	十—一七歳	舊、仇、探、悲、史、文、滑、	三—四	伏見町良家少年(十三)出家、三四回來れり
廣島	T	三〇〇	二〇〇	一三迄	後六	五〇〇	三〇〇	活、悲、	滑、	十一—十二歳	滑、悲、正、活、	一—二	
	H	三〇〇	二〇〇	一五迄	後七 後一一	四〇〇	三〇〇	悲、活、	活、滑、	十二—十三歳	活、新、喜、	一	なし
仙臺	S	四二〇	三〇	*一五迄	後六 後一〇半	—	—	—	—	—	史、正、神、悲、	一	なし
	SP	四〇〇	一〇〇	一五迄	後七 後一〇	四〇〇	五〇	喜、新、舊、史、	活、	十歳以上	活、	一	なし
新潟	D	二〇〇	八〇	一四—一五歳迄	自後七	—	—	新、悲、	活、	十一—十二歳	舊、新、喜、活、人、	一、日曜は二回	
靜岡	S	五一九〇●	二八七五●	小學生程度	後六—一一	—	—	西、探、日、舊、	西、探、軍、	十三—十四歳	日舊、新、西、	一、祝祭日は三回	なし
下關	A	一三五〇	一八〇	一六歳迄	後六—一一	三五〇	三一〇	舊、武、俠、	西、舊、	十一—十三、十四歳	舊、西、新、滑、實、	一	フイルムを選定し惡風を助長する
門司	S	七四〇〇●	一五〇〇●	十二—十三歳迄	自後六半	八五〇	一五〇	悲、史、	實、活、	十歳前後		一	なし

Digitized by Google
Original from
COLUMBIA UNIVERSITY

童の年齢フィルムの種類兒童の行爲等詳細のこと	フィルム取締に關する警察の處置	調査時日
を惹起せしむ	警察の許を受く	四、八
	厳	同
	厳	同
的	審査を受く	同
	行届く	四、九
		四、八
		同
右不良少年なりし事判明	厳	同
	毎回試験	四、七
	同	四、八
	頗厳	同
	保安課及警察試験を經	同
	筋書を見て許可	同
	大に厳	同
ものは禁じたり	厳重、筋書を徴せる	同
	警察官検査す	同

（註）略語解　活＝活劇、日＝日本劇、仇＝仇討、史＝歴史劇、文＝文藝劇、正＝正劇、新＝新派、神＝神祕劇、軍＝軍事劇、俠＝俠客劇、武＝武勇劇

＊學生は大學生まで小人として取扱ふ　●入場人員疑はし。只報告の儘を掲ぐ

上文の如く映畫の種類は活動寫眞界でそれ〴〵命名されて殊に新しい題目を選ぶことを喜ぶ傾がある。例へば文藝劇と云ひ、神秘劇と呼び、實寫劇など稱へて居るが、要するところ左の如き範圍を出でぬのである。

一、自然物映畫（山川、都鄙、建物、動植物等を含む）

二、演劇（新舊各派）

三、滑稽物、冒險物

四、風俗、風慣、生活法、

各個の條項に對しては今說明することを省くにより表に就いて見られんことを望む

只玆に一言を費すとの省き難き點は如何に多くの兒童が休日を利用して活動寫眞館に流れ込むかと云ふとで、上記の表を見れば其關係は極めて明である。（未完）

飛田遊廓指定地幽靈問題

昨年四月大阪府が、一部政商に誤られて大阪二百萬の市民を犠牲とし、新に飛田の地に二萬餘坪を遊廓地として指定したる件につき、我徒が直に立つて一大反對運動を起し、大阪市民も亦奮然として之が撤回を求め、遂に國家風敎上の大問題として天下の視聽を聳動して、其成行きを監視しつゝあるは今更めて說くを用ひざる事であるが、玆に端なくも奇怪なる事實が發見せられた。

といふのは大阪府が新遊廓として指定した處は、耕地整理を施して一昨年四月限り其字名を全部改稱してあつたのを、改稱以前に內務省へ提出して居つた指令が昨年になつて許可になつて、其儘之を發表した爲め該指定地名は一年前に全部消滅せる地名であつて、此世に實在しない幽靈の樣なものである事が、大阪朝日によつて發見せらたのである。故に該指定は、遊廓設置の効力は其儘であらうが、少くとも土地に對しては法理上無効の指定であると、轟々と議論が沸き起つたけれども、魅魍はこんな事ではへこんでゐず、現に警察部長は問題にならぬ事だと空嘯いてゐる。彼の態度の如きは悔ひてゐる樣子がないのであつて、吾人は道德を解せざる人によつて警察權の握らるゝ事に不安を感じない譯には行かぬ。

最後の賴みにしてゐた大阪府會も、中立議員の醜化によつて遂に否決し去られた今日、我等は年の更まると共に勇氣を百倍して百折不撓、素志を貫徹しなけれが止まない決心が必要である。全國の會員諸君、警視廳問題は成功した今日、殘れる本件の爲め愈々大阪の同志を激勵後援して最後の勝利を得るやうに切望す。

Digitized by Google　Original from COLUMBIA UNIVERSITY

人生の旅路

農學博士 法學博士 新渡戸稲造

人生には重荷がある

『人の一生は重荷を負ふて遠き道を行くが如し』とは、徳川家康公の後代に貽された格言である。公の人生は此一句の中に遺憾なく謂ひ盡されて居るが兎角人間は勝手氣儘なものであるから、斯かる古今の格言すらあたら社會から忘れられる樣な感がある。其理由も種々あるけれども、近代に於ける科學の進步、殊に生物理學の發達は人間の運命とか、又は境遇を昔の儘に之れを觀て居る事が出來ないで、理論の下に分解しやうとするのである。而して或る程度迄は人間が何故に此世の中に生れ來たものか、といふ事さへ世の哲學者其他の人達の手に依つて漸次明瞭になつて行くといふ事であるが、併し人間が何をしに此世に生れ來た者かといふ議論の前に、先づ我々人間の現在が如何に世渡りして居るかを考へたいのである。或る者は人間の生れるといふ事は、自分が樂みを爲す可く生れたのだとか、又は苦みに生れた者とか云つて種々と我々の考へ方に依つて違ふのであるが、人間が生きて行くといふことは隨分と世事辛い者だといふ事は事實である。如何に生存競爭が激しくない時代であつても世渡りといふ者は樂ではない。啻に今日のみが浮世は辛い者だと考へるのは間違つて居る。どうかすると或る人は昔に生れたかつた抔と愚痴を滾すのを聞くが、之れ許りは人間として是非もない事で、如何に運命が計り知る事の出來ないとは言へ、全く人の一生は重荷を取り去る譯には行かぬ旅路なのである。

落膽するのは何故か

世の中には隨分理屈を並べて、何事でも因果律だから拵と其本人の自業自得として一向省みない人がある。成程因果律の關係から考へれば凡ての物原因があり結果のある事であるから、敢て不思議とすべき道理はないが、併し我々の世渡りには思ひも寄らなかつた悲運に廻り合ふ事がある。時代の變遷と人の一生は同じやうな者で、神ならぬ身の到底先見の明があるべくもないから、多くの人は身の儚なさに人知れず袖を搾つて居るのである。如何に因果律とは云へ、誰しも自分は之れが惡い事だと信じて物事をする人はない、尤も例外として惡事を働くやうな者もあるが、世間の多數人は皆自分の可いと信ずる事を行つて居るのである。そして人は皆働いて自分の身の幸福を望んでゐるのである。誰も彼も我身の幸ひを祈つて日々の仕事に汗水を流して稼ぐのである。勿論我身の爲め許りではないが、家庭の幸福とか又は社會の幸福も矢張り自分の身の安樂を祈る事になるので、斯く働いても却々浮世の波は我思ふ通りにはならない。其處で落膽する事になるのである。自分の力のあらん限りを盡して幸福を得やうとした、其凡ての努力が謂はゞ只一粒の水泡に歸した時に、必ず其人は歎息を洩して人生の味氣なさ、浮世の世事辛いといふ恐ろしい運命に驚かされるのである。人は茲に於て初めて人生の眞味を味ふ事が

Digitized by Google Original from COLUMBIA UNIVERSITY

出來る、茲から我々の人に對する同情とか愛とかを求めなければならないと思ふ。然るに彼の人の半生が悪かつたから彼麼事になつたのだと原因あつて結果ありなど冷笑して了ふ事はどう考へても我々が人としての心ではない。

眞の愉快を感ずる時

私が今日小石川邊を通ると、大道の傍の石の上に腰を下した老婆が、大きな風呂敷包を背負ふとして力任せにやるが却々上がらぬ有様を見たので、早速俥を留めて車夫に命じ老婆へ手傳はせた。老婆は喜んでヨタヨタ向ふへ行く。私は老婆の身の上をおもふて同情を寄せずには居られなかつた。之れ抔も理屈から謂へば老婆の癖に大な風呂敷包杯を背負ふからと思ふ人もあらうが、併しそれでは人情の美といふ者がない、謂はゞ動物のやうなものだ。我々が此浮世を渡つて行く上には持ちつ持たれつお互に思ひ遣つて行く處に、眞の人生の味ひがあるので、其處が人情の美しい處である。彼の老婆とても伊達に彼の様な大きい風呂敷を背負つて行く譯ではない、必ずや彼の荷物を背負つて行かねばならぬ餘儀ない事から、自分の力のあらん限りを搾つて行くのであつたらう。其老婆が思ひ掛けない助力を得て喜んで行くよりも、其處に實は私自身に取つて、何とも謂へぬ愉快を感じてゐる。人間が何が一番愉快だと云つても、今日は何かしたなといふ事を行つた程我々の眞の愉快は又とないものである。

浮世は世事辛ひもの

凡て世の中に對し世の爲め人の爲めに、自分は今日斯樣な事をしたと思つた時の精神は實に何に譬へる事が出來ぬものである。だから慈善抔も受くる其人よりは慈善を爲す人が愉快である可きで、其處に眞の慈善の意味がある。中には仕方がないから彼れ位は出さう抔と、仕方がないとか、止を得ず抔とかお義理的に考へる人があつて、慈善といふ際に不快を感ずる抔といふ人もあるが、決して其麼ものではない。慈善の徳は施されるよりは施す人に大なる滿足がある筈である。右の意味の慈善は假令其物の多少を論ぜず、自分が斯樣な善い事をした、嗚呼愉快で堪らぬといふ處に我我の眞の慈善心があるのである。慈善を受くる身より、其の爲す身になつて考へれば其處には浮世の世事辛ひ點が確然と判るのである。人の爲す可き事の美はお互の悲みを取り去る事であると思ふ。であるから只、徒らに理屈一偏に走つて種々と解釋しての人情を解する者よりは、たとひ學識技能の劣れる人でも嗚呼今日は何かしたといふ愉快には迚も及ぶ者ではない。此場合寧ろ後者の方が人生の眞味を解して居るとも謂はれる。吳々も我が爲した行爲が愉快の種だとするのは、他人に對して賞む可き事許りでなく、又自分自身に於ても世渡の如何にも愉快な事がある者だと、人情の美を解し眞の誠心といふ者が出て來るものである。

人生の意義と人情美

斯樣に人に對する同情と謂ひ慈善と謂ひ自分自身の誠心から出た行爲は實に愉快なものである。其時の精神こそ所謂キリストの天國であり、佛教の極樂淨土である。心に一點の曇りなき俗離れした心になるので、其人は其愉快を得た事が非常に幸福な譯である。所謂與ふるものは福なり、天國は其人の有なればなり。如何に黄金百萬金を積み日夜我が慾望の限りを盡くし乍ら、生き永へて行くといふ人でも、眞の愉快といふ點に至つては、矢張人の爲めに些少な事でも爲になつたといふ自分自身の心には比較する事の出來ないのである。人生の眞意義といふのは實に此點ではあるまいかと思ふ。重き荷を負へる此人世の旅路は、お互に助け合つて行かなくてはならない。又夫と同時に自分自身に取つて、これに愉快を感ずる世渡りするならば、其處に初めて人生の幸福も生まるゝのである。

廓清春秋

河合北洲

□日に新に又日に新

空の空なる哉。凡てこれ空なる大虛に、人生の空洞を訴へ、空の空なる大靈に、小靈の無我生を寄す、空中に樓閣を畫くは青春の趣味にして、空の空なる時間に目盛を刻み、年末年始の大渠を穿つも、亦人類の自己飛躍法也。

日に新に、又日に新なるは人生の理想なりと雖も、日に古び、又日に古び行くも人生の事質也。流れ行く弊衣を拋ち去て、流れ來る新衣を縫ふ、心機一轉の會は則新生の一針にして、一針これ三百六十五日の針路也、一事はこれ萬事の滑走なりとせば、向上々々の飛行機も亦人格を象徴せずや。

朝々迎へ來る靈光の翼に、乗らざるものゝ何人かある。一呼一吸、大虛は則大靈に、飛躍の波を揚げざるもの何人かある。覆ひ來る夜々の翼は雌雄の雛を集めて、何の反省を促し、何の情操を暖め、何の信念を育てんとする、骨より節々に、心より髄に、聖くして聖きものあれば、則ち昇りて生き、聖からざるものは、則ち降りて死の谷を行く。縦に昇り行く。聖心は、又横に膨脹の連環を張る、家庭、社會、國家の廓清も、唯この一環の伸縮自在の鍵を作る也。

□今日の今日

昨日は我の失ひし財産也。明日は孕める希望兒の出産なるやも測り難し。去れる我の現財產、現生命は今日の外何物かある。

我と今日はこれ億萬哩の空間に孤立する、唯一の立脚地なり。我と今日、これ幾萬々年の時間に現在する、唯一の占領點なり。此一刻、此一身、再び立ち難きピラミッドの尖頭に、雲の如き觀客に圍まれて立つ。我何を考へ、何を爲すべきか我の爲すべき事は山の如く、我の考ふべき事は森羅萬象みな是なり唯だ我の爲さゞる可からざるものは一なる己、我神に非ざるが故に、固より神たるを望むも

遊廓物語(三)

▽問題になつた晴着△

救世軍婦人救濟係 伊藤富士雄

> 晴衣を着て自由廢業を爲し遂げた際には、兎角問題が起り易い。といふのは娼妓抔も同様であるが、樓主對娼妓の衣類關係は第三者が到底覗ひ知る事の出來ない程紛糾して居るものである。樓主は自分勝手に公正證書を作成し、其中の衣類關係等も種々と面倒な條項を書入れては娼妓の膏血を搾り取らうとするのである。左に揭ぐる事實は其一例であるが、斯様な手段を以て今も何什ふかすると地方抔では隨分やつて居る處もあるやうである。

自分の手で自廢を遂げさせた娼妓五百人中、正月中加も松の内の三ヶ日、晴衣を着て自廢の相談に來たのは只二人であつた。早速所轄警察署へ同道し其目的は達したが、衣類の關係から計らずも一問題が惹起つたのである。樓主と娼妓との公正證書中に「娼妓衣類全部は質權を以て樓主方に擔保として提供しあるを承認す。但し新調品も之れに準ず」と隨分勝手な文句を書加へて置いては無智なる娼妓を脅して居た。「お前が廓を脫け出して自廢しても、衣服を横領した事になるのだから當然懲役に行かればならぬ」と常に自廢を防害したのである。警察署でも裸になれとは謂はぬが借りた物は返へせ位は言ふ。サア斯うなると娼妓は

得べからざる也。我四足獸に非ざるが故に、四足獸たるを行ふも亦恥の至り也。我は人也。いかにして人たるを行はんかこれ我の爲すべき百萬中の撰ぶべき唯一なるのみ。

人たりと云ふ、今古の大人たる固より可也、凡夫たるも亦大に可也。たゞ其器の學ぶべき、達すべき高地に立ちて、他に模倣せざる、又他の模倣すべからざる獨自一己の我たる本領を盡すに在り、神の靈を宿せる心殿は、其不完全なる五官智識、位地を透して、其最善を盡すに隨ひ、光燄の愈々加はるを見る。

最善を盡して、自己の天職を公行するは、これ自己の大世界也。自己の大歴史也、其貧賤、不如意、窮返の色彩を加へて、其責任の重量を增すに隨ひ、光彩の愈々發揮すべきを感謝せずや。

今日の今日とは、此大世界に立ち、此大歴史的活動を演ずべく、空前絶後の好機連續に在り。其動靜が他との比較交渉に於て大小輕重あるは、固より自己の關すべき所に非ざる也。裁決と經綸は造化の手に在り、唯だ我同胞と天父に對して、盡すべき最善と至誠の及ばざるを恐るべきのみ。

□我の我

我を知るものは我也、我を知らざるものも我也、我を知らざるものも我也。我を高くするものは我也、我を卑くするものも我也、我を活かすものは我也、我を殺すものも亦我也。我にして我の解すべからざるは、スヒンクスの謎にして、又スヒンクス夫自身たる所以也。

世界の市場に立つ、我眞價は我自ら之を語る。語るもの眼に在り、口に在り、耳鼻に在り、手足に在り、體力に在り、伎倆に在り、智識に在り、情想に在り、人格に在り、其在るものよりして幾多の懸直をなす、柳原日影町の夫の如しと雖も、買被ぶるもの頗稀にして、踏倒すもの、甚少からざるは、曲尺を以て賣るものと、鯨尺を以て買ふの相違あれば也。高買したるもの彼に在れば、我は知遇の厚きに感激し、廉賣したるもの我に在れば、冷遇の無情に悶々す、剩除は我に一寸一分の加減なりと雖も、我情操に多大の冷熱あるは我の堪ふ可くして堪ふ可らざるもの也。大人の衣服は小人の夫

手も足も出なくなつて了ひ、遂に救世軍や廓淸會に飛込んで來る。救濟係の應接は此際最も必要な時である

だから樓主は公正證書に據つて早速刑事訴訟を起した。私は裁判所に呼び出され、當時の狀況等に就いて訊かれたのである。當時の答辯は大體次の如くであつた。「公正證書には如何樣な條項があるにもせよ、身體を包む丈の衣類を着て來るのに不法がある可き筈はない。若し公正證書通り、衣類全部を脫ぎ棄て、裸體で往來を歩いて來たとすれば法律上無論處罰せらるのは當然である。されば娼妓は悲しい哉其當時の境遇上から着のみ着の儘で來るより他に道がない。假令ば入營の新兵さんが不心得にも脫營した場合、軍法會議で脫營の處分は受けるが官服の横領罪は受けぬ。又懲役人の破獄兵が逮捕されても破獄罪は成立するけれどもまさかに赤襦袢の横領罪は問題にならない。人間がオギアーと生れて產婆に取り上げられて此方、大概衣服を纏ふて、偶に風呂に這入る位の外は、裸體で住む事の出來ない動物だから、衣類の善惡や、借金の型であらうと身に纏ふ一枚の衣類を着て來るのに何の無理があらふ」と申し立てた。裁判は當然樓主の敗訴に歸した

元來娼妓の身付金といふのは、前借の時金額の三分の一位を種々の名の元に天引に引去つて、大抵有耶無耶にして了ふ。第一、從前迄勤めて居た娼妓の古襤褸や古着杯を目の玉の飛び出るやうな法外な値段で賣り付けては、それが擔保だとか抵當だとか、娼妓には解らない文句を並べては、怖ろしい事を遣つて居る。身付金の事を一名不見金といふて、盲金であるといふては、平氣で加も當然のやうに話し合ふて居るといふ事だ。可哀相なのは何も知らぬ娼妓ではないか。

▲次は情死した娼妓の遺言▼

ならざるが如く、我にも適者適衣、適格適所の我に安んぜんと欲すは自然の情也。安身立命を求むる我を讀むもの、彼果して何處に在りや。

我を讀むものは、我と同一ならんよりは、寧ろ同一以上のものならざる可らざる也。美妙は天地に滿つるも、我に此心なくんば我とは別世界也。微妙の心我に在りて、彼の美妙を讀み、天樂の琴線我に鳴りて、彼の天樂に共鳴す。小說、演劇、天才の最も多く喝采を博するは、最も多く衆人の心を讀む分量に在り、人類は地平線に降るに隨ひ、愈々讀者の領地を擴大して、相識相知の幸福を增すと與に、人格の高さと大さと偏を加ふる每に、其領土を削減して、我の外知る能はず、我の外知らるる能はざる孤立寂寥の尖頭に達せざれば已まざるものあらんとす。

天は公平の手を以て、求むるものに物心二面の版圖を平分す、物界に廣きものは、心界に狹く、心界に重きものは、物界に輕し、これ天の公平なる處分法也。此處分法に滿足して、不平不滿を訴へざるは物心二界の王、神の明鏡前に立てば也。明鏡炳として我の我を照す、我を知り。我を高くし、我を活かすものは唯此の天父に非ざる乎。然り、天父は則ち我の眞我に非ずして何ぞや。

□雪の光

一穗の寒燈、眠むるに非ず、覺むるに非ず、我を靜座の國より、默想の雲に運びて幽遠の境に伴ふ。

山水の景美、崇嚴ならざるに非ず、花鳥風月の容美、艶麗ならざるに非ず。惟至境に處する至感の至美なるを如何。

前景海に舒びて、後景雲に迫る、曳光點々たる人草繁きかなた、聖美の神衣に浮びて、悠久の靈光に輝く、人の人、神の神たるに何かある。

皮下の血、骨上の肉、人を弄べば、弄ばるゝものは無明の巷に戰ふて、私情公情の干戈に死屍累々たり、慘絕の西暗又東黑。

襷を十字に綾取り、斃れし戰場の南北の息もて息を呼び、血もて血を洗ひ、雪白の靈衣を纏ふに忙しき人の人よ、神の神と會心の笑を洩せば、暗黑の宇宙、尙ほ榮光の波に溢れて、雪上の雪に光れる聲を聞く。

□東北の聲

何の聲ぞ、木は木を搖し、戶は戶を叩く、臥床の晨、廓淸の曉鐘いかに切なるを。

西歐には一醒能く國家を救ひ、我東北には一醉直ちに數十人を殺傷す。

今にして、帝國日本の狂夢を覺ますなくんば、東洋を擧げて長へに日沒の深淵に投ぜむ、既に脚下に破る、薄氷の音を意識せずや。

軍國婦人活動

△英國　戰爭に依り壯丁者減少の爲め、主として婦人を農業に就かしめ、時には學童をも之れ利用するの議ありしが獨逸が教育に依り耐久力を發揮したる實例に顧み、勅令を以て之を嚴禁し現在は戰後も婦人を農業に男子を工業に從事せしむべく機關を設けて之が研究中也。

△獨逸　同國の婦人は平生勞働に堪へたる爲め、農工一般の業務に使用し良好の成績を擧げ居れるも、動もすれば教育不足を告ぐる有樣なれば戰後に於ける女子教育の必要を感じ官民共に之が研究中也。

△墺國　同國婦人の活動は最も目覺ましく傷病者看護及び軍人遺族訪問は勿論、主要箇所に軍人酒保を設けて軍隊の便に堪へ、其收得は擧げて戰士の慰藉用として發送し居れり。

△露國　婦人は兵器廠の增設に伴ひ志願して之に入り、過激なる勞働に從事し、一切男子の手を藉らず、或は矯風會を催して婦人精神の向上に努め居れり、政府が國庫補助を惜まず更に戰後の教育方針に付苦心中也。

Digitized by Google
Original from
COLUMBIA UNIVERSITY

最近の廓清運動

▽群馬支部總會

既報の如く十二月三日午後一時、前橋市に於て群馬支部總會を開く、德江亥之助氏議長席に就き、事業報告の後、役員の改選及び支部規則の改正、今後大に活動を興して全國の模範縣たらしむべき事を議決し、島田會長の訓話ありて、懇話會に移り、同七時公開大演說會を開く、德江氏開會の辭を述べ、本部理事宮田脩氏は「青年の元氣と風教問題」と題して一時間に亘つて花柳病の恐る可き事を論じ、島田三郎氏は「群馬縣民の使命と」題し、世界の大勢を論じて日本の地位に及び、進んで風敎上に於ける群馬縣民の使命を論じて大に其の覺醒を促がされた。來會者約六百名堂に溢れて入場し得ざる者數を知らず、誠に同地稀有の盛況なるのみならず、遠く縣下各郡より來會し、最も効果ある集會を見た。新任正副支部長左の如し

支部長　德江亥之助氏　副支部長　森川抱次氏

▽川俣支部發會

川俣支部の設置に就ては、同町女子基督教青年會幹事田丸よね子女史之れが運動を爲しつゝあつたが愈々其設置を見、去月十日發會式を同町川俣座に擧行した、本部より貴族院議員本會評議員江原素六氏態々出張せられ、溫乎たる風貌を演壇に現はし統計に基ける我國民の不貞操等に就き、約二時間の講演を爲し三百餘の來會者に多大なる感動を與へた。閉會後女子青年會に於て會員親睦會を催し役員選擧を行つた結果左の諸氏當選した因に當日は新入會七名あつた。

支部長山野虎市氏　會計田丸よね氏　幹事桑原福次郎氏　武藤研三郎氏

▽第一回評議員會

十二月六日午後七時本年度第一回評議員會を衆議院議長官舍に開く、事業報告の後、飛田問題に就きグリーソン氏の現狀說明あり、別項雜誌賣買問題に就き協議を遂げ、十時半散會。來會者如左

島田三郎氏　內ヶ崎作三郎氏　高島米峰氏
安部磯雄氏　山本邦之助氏　益富政助氏
矢島楫子氏　小崎千代子氏　伊藤富士雄氏
宮田脩氏　皆川晃雄氏　角谷和市氏
三輪田元道氏　日疋信亮氏　伊藤秀吉氏

▽大阪支部最近の運動

十二月八日大阪府會聲援のため、南區天王寺公會堂に於て公開演說會を開催す。朝來大雨のため群衆如何と氣遣たるも、開會時間六時半前には既に滿場立錐の地なきまでの來聽者あり。司會兩國橋敎會釘宮牧師、第一席に大阪每日新聞政治部長高石眞五郎氏、次にグリーソン氏、救世軍山室大佐、會長島田三郎氏は、議會前の多忙なる身にも係らず強て出馬されたり。

府會は開會の當初より、刷新派は飛田問題に付きて質問を試み、遂に之が取消建議案府會の最終日卽十六日に提出し、盛に論戰の鋒を向けしも遂に十二票對十六票にて建議案は敗らる。

十七日(月曜日)午前の禮拜後大阪敎會求義館に於て委員會を開く、出席幹部の數名、釘宮、名出、高木、グリーソン、清水、中村、林の七氏に於て、相談なせし件は、此より開催さるゝ、貴衆兩院へ向つて飛田新遊廓取消を請願する事。(支部報)

淺草實業團へ雜誌販賣並に其の解約顚末報告

一、事實の顚末

本年五月十七日本會が警視廳公娼擴張の新方針に對して、大演說會を神田美土代町青年會館に開くや、問題關係の地區、淺草附近よりも來會せる者少からざりし模樣にて、本會の所論に對し、淺草の人達は其敵視せる公娼を排擊するの一點に共鳴を感じたるものと見え其後十日ばかりを經て、淺草の實業家なりと稱する伊藤喜之助氏外二名は本部へ來り、本會今後の運動方針を承り度し、而して若しも演說會を開くならば、淺草キリン館にて開いて貰へまじきや、會場は無代にて提供すべしとの事故、本會主事は言下に謝絕して曰く、本會は男女貞潔の理想を鼓吹するが本來の主義なれば公娼も私娼も共に撲滅す可しと主張し居れり、唯順序として先づ最も公けなる形のものより廢絕せしめんとする者にて淺草に於ける私娼婦の如きは一種の準公娼とも見る可きものなれば、我等が半生其撲滅を叫び來れることは先日の演說を開かれたる方は充分了解せられ居るべき筈なり、我等は斷じて諸君の援助を容るべき性質のものに非ずと、縷々其立場を語り更に今假りに諸君の側より考へらるゝも廓清會は正義人道の大旗を眞向に押立てゝ行けばこそ假し其同志未だ多からず其發尙甚だ大ならざるも社會より重んぜらるゝなれ、若し同志に非ざる諸君の聲援を受くるが如き嫌あらんか、如何に其發の大なるものありとするも何の權威かあらん、されば諸君の請求は無意義のみならず甚だ矛盾の次第なれば御斷申すと答へしに其人々は其意を諒としたりしが彼等は再びいふ一切無關係にて唯淺草に於て演說會を開かれまじきや、主事は之に答へて本會目下の運動は吉原と爭ふに非ず、今回は警視廳の遊廓擴張方針を難ずるものなるが故に、吉原に接近して對抗演說會を開くの必要なく寧ろ有樂座あたりにて演說會を開くは余の希望なりと答へ、彼等は其儘引取りたり、而して其後數日を經て再び來訪し、贊助會員百名を募りたりとの事なりしが、再び之を拒絕したる所彼等は曰く、吾々初め贊助會員たらんとする者醜業者に非ず、皆一級二級の有權者にして實業家のみなれば會員としての體面を毀ふ如きものにあらずと主事は之に對して假令正業者とて遊廓の存在を企圖しそれによつて利潤を得んとせらるゝ事の明白なる限り本會員たる能はずと告げしに、然らば正會員にとの事故正會員と贊助會員とは會費支出の金額を異にする丈の相違にて會員としての資格に差なし要するに左樣の御交涉は一切謝絕すと告げしに、是等數回の交涉にて彼等は充分に本會の主張と態度とを了解して歸りたり、

然るに六月二日金三百圓を携へ來り雜誌を購讀し度し我等は貴會の主張に對しては確に耳を傾けて聞かざ

る可からざる立場にある者なり、餘り時勢を知らざりし故、今日の如き痛棒が一下すれば皆惰慾進退に苦むの有様なりさの事故主事は雑誌購讀ならば雑誌其者が賣品故求めに應じて差支なからん、且つ此の雑誌は申さば諸君への藥なれば、是非讀んで貰はねばならぬものにて、其爲め數年來諸君の組合へ一冊づゝ毎月寄贈し居る譯なれば、諸君の方から讀みたしとならば余は諸君の間に唱道する爲めに之に應じて可ならんと思惟す「此件本會には會計監督あれば其人の意見を聞く迄は確答し難しと告げ、結局一時雜誌代として預る事となり、先づ會計理事に圖りたるに主事と同意見にて更に皆時面會の機會ありし他の二理事にも相談したるに之も同意せられ、更に其一理事は最後に主事と共に立會の上彼人々と會見して購讀の希望に應ずるかに決し、六月號は特に許稅念問題號なりし故千二百部以下其希望により、毎月五百部を送り、十二月號二百十五部を送りて其の買納代價に對するだけを全部送了したり、即ち如左。

種別	部數	代價	金額	備考
六月號	千二百部	一〇〇	一二〇、〇〇〇	（特別號）
七月號	五百部	〇七〇	三五、〇〇〇	
八月號	五百部	〇七〇	三五、〇〇〇	
九月號	（毎年夏期休刊）			
十月號	五百部	一二〇	六〇、〇〇〇	（毎年特別號）
十一月號	五百部	〇七〇	三五、〇〇〇	
十二月號	二百十五部	〇七〇	一五、〇五〇	
計			三〇〇、〇五〇	

二、評議員會の否決

右に對し七月中旬尚朝報は之を不當として評論せられ、本部役員中にも其の事實の顛末を照會し、其不可を論ずる者ありしも、時既に契約の後にして役員は多く各地に避暑して、理事會を開くを得ず、本會は常務理事を置かず十人の理事會合議制とす、或は輕井澤に於て二三幹部員の相談會を開き、或は本部に於て理事會開會の通知を發したるも來會者少くして（輕井澤に於ても東京に於ても來會者兩會共四名なりき）延期の止むなきに至り、漸く秋季に入りしが此間に政界は種々の變動起り、更にキリスト教徒の共同傳道を見加ふるに此件を扱ひたる伊藤主事は嚴父の逝去に逢ひて鄕里久留米に約一月を過すの餘儀なき事情等重なり生じて、容易に幹部及理事等の會同する機を得ず、遂に十一月に入りて二十三日始めて理事會を開き本件を報告して各自意見を陳べ未決のまゝ之を評議員會に議るに決し十二月六日本年度第一回の評議員會を開き、上半期に於ける事業報告と共に會計報告をなしたるに、評議員會は別項の理由により右の賣買契約を不快とし、其の實質行爲を認めず、之を解約する事とし既に送付濟の雜誌は之を寄贈することに決したり。

三、解約の實行

茲に於て主事は一理事と共に淺草實業團の代表者たる前記伊藤喜之助氏を訪ふて、契約の解除を告げ、先方は之を容れ、即ち三百圓を返金し、雜誌を寄贈し關係を事前に返して此に問題を解決し了れり。

四、否決の理由

實質行爲を是認する論者を甲とし、否認する論者を乙とし其中間にある論者を丙とし其各論旨を明にして世人をして此件の眞相を知らしむるの道を取りたり。

甲の主張

本會は雑誌廓清を毎月全國の主なる遊廓事務所に寄贈し居れり、現に淺草の組合事務所にも寄贈しつゝあり、そはいふ迄もなく彼等に自潔の思想を宣傳し、正義人道の何者なるかを教へて悔悟反省を促さんが爲め也、故に今日の如き機會に彼等が本誌を讀まんと言はゞ、これ好個の機會にして其何人が之を讀むにせよ兎も角も純潔なる文字に胸くしむる事を得るは反省の一歩に近かしむる機會を多くする所以なり。されば出來得可くんば毎月娼妓一人々々に雑誌を配付し、傳道したけれども、そは總役の許さゞる所なれば、此際購讀の申込みを諾するは敢て遲疑するの要なけん。又本件は個人として其取引が極めて公明正大にして、會として毫末も主張を曲ぐるに非るが故に毫もやましき所なきのみならず斯る場合に於ては寧ろ進みて積極的に之を督勵し以て平素の主張を實現すべきに非ざるか。論者或は先きには會場の提供を拒絶して今何故に雜誌の購讀に應ずるかとなすも、彼と此とは全く其趣を異にす會場の提供は彼等が本會を援助せんとするものにして雜誌の購讀は何等援助の意味を含まず、諾否は又先方に不純の意思ありと忖度して之に應ずるを不可となせど、前陳の如く本會の主義態度は明白に彼等に了解せしむべく十分に說明したることなれば、其上更に購讀者の胸中を忖度し其純不純を推定するの要なかるべく、假令其要ありとするも、すべての場合に於て購讀者の動機如何意志如何を一々推定して後に雜誌の賣買を判斷するが如きは實際に於て不可能の事に屬す、且つ彼等購讀者に不純の意思ありたりとするも彼等は病人にして「廓清」は藥なり、病人が藥を求むるに到りて之を拒むべき理由あるべからず、況や今回の場合に於ける購買者は銘酒店營業者にあらずして其地醞の人口増加を利益とする地主又は附近の商人なれば其不正の幻夢に迷ひ浮利に醉ふの思想を擾破せんには覺醒遷善の望必無ならざるに於てをや。

乙の主張

手續に遺漏なく、且つ當方の動機は善意のものとするも先方の動機に對する穿鑿の不注意たる譏を免る可らず、彼等は廓清の主張運動に於て已れ亦打たるゝ身ながらも、公娼撤廢主張の點だけに於ては確に共鳴を感じ居りて其聲を大にする事によつて、やがて彼等の利益が廻り來らん事を豫想し種々の方策を以て援助せんとなしたれども、悉く其拒絶されたる爲め、最後に雜誌代の名儀よりて誘惑の目的を遂したるものと感ぜしなる可く、此場合に於てこちらさへ清淨ならばといふ譯には行かず、苟も社會廓清の大任を有し、純潔を標榜する團體としては他の世俗的團體に於て問題にならぬ事にても我會は最も愼重に考慮し社會の疑惑を假りにも起さしむる樣の事ある可らず、既に此事柄が初めより一切觸れぬ方がよかりしと心ある者をして直覺的に感ぜしめ、何となく不快の感情を生ぜしむるは是れ既に道徳的刺戟を受け居る譯にて、廓清會の運動が只だ結果にのみ重きを置く實際家の運動となりて、動機を顧みぬといふ事になれば、識者の同情去るに至らん。即ち本會は此の實質を認めず且つ當事者は引責せしめて社會に謝せざる可からず。

丙の主張

我等は之を不道德とは認めず、されど不快を感ずるは事實也。乍併不快の原因は乙論者のいふ如く道德的原因に限らちのに非ず、利害關係に於ても之を感ず、即ち吾人の不快を感ずる道は之を不德と認むるが爲めに非ずして、純潔を標榜する本會が道淺と題を以て社會の一部に物議せらるゝに至れる事を不快とするにあり直言すれば他の不純者を收容せしむる事の大切よりも社會の誤解によりて此團體が受くる影響との輕重を思ふものなり。要するに本件は事務上の問題にして道德上の問題にあらず、故に吾人は不快なる契約の解除は之を欲すれども引責の理由を認めず。

右に對し採決の結果

此の實質行爲は本會當事者の意思に於て非議すべき所なしと雖先方の意思には之により何等かの便利を得んとするの下心ありたりと感ぜられ此點に於て不快を覺ゆ、と同時に斯くの如き些細の問題によりて事情を審かにせざる一般社會に多少にても疑惑を抱かしむるは、本會の甚だ遺憾とする所なるが故に此の實質契約を解除し、金員は其全額を返付し、送付せる雜誌は其儘之を寄贈すべし。（十二月六日）

Digitized by Google
Original from
COLUMBIA UNIVERSITY

—■□天鼓の響き□■—

現代國民の思想

深川　有馬純雄

現日本の人心が安住する事が出來ぬのは各人が互に人生觀を有つて居ないからで、之れを平たく言へば人間の目的が何であるかと云ふ問題が解決されて居ないとの意味である。然らば即ち貧夫は利を愛すと云ふ。人の目的はそれか？否々人は貧夫のみではない。烈士は名を惜むと云ふ。然らば人は名譽を目的とするか、否否人は悉く烈士のみではない。女は己れを喜ぶ者の爲に容づくると言ふ。然らば人は性慾の滿足を目的とするか？、否々人悉く女のみではない。女の中にも女丈夫と云ふ者があるぐらいだ。現代の人心は博士になれば成功だ。會社員になつて綺羅錦繡を飾るも成功とし、一方に於て賤業を奬勵して居るに拘らず、少し學問でもすれば田園に隱れて百姓をする氣になる者はない。大將ばかりで戰爭は出來ぬと極まつて居るに拘らず、士官學校の生徒は皆大將になりたがつて居る。舊時代の父兄も新時代の青年子弟も、均しく此の思想に囚はれて居るのである。試みに其の原因を尋ぬれば父兄先輩が成功(好奇心)にのみ重きを置くからであらう。

維新改革の際には、政治界も陸海軍社會も急に人材を要したる故、些と文字の力ある者は高位高官に昇り得た。其所で何んでも之れは學者に限る、學問をせねば成功は出來ぬと、子弟を學校に入れて、金を吝まず勉強をさせた。初年の内は之れも善かつたらうが、大正の今日となつては人材は最早溢れて來たやうであるだから學問をしても容易に、地位を得る事が出來ぬのである。何日の間にか時勢は變遷して居るのに、父兄先輩は、尙は之を悟る事なく、其の子弟を學校に送つて、所謂成功を強いて居る。

現代の教育は餘りに成功と云ふことに重きを置き過ぎて居るから、其の反動は不成功者の煩悶となる。貧家子弟の怨恨となる。煩悶怨恨の末は遂ひに危險なる思想に落るのではあるまいか。

社會主義は其の始め勞働者階級に宣傳す可く試みた併し日本の勞働者は由來講談と浪花節で武士道を養ふてゐて、殊に工業發達の程度未だ著しからざると、資本主勞働者の關係が法律的ならずして道德的なるとに因り、社會主義の思想は彼等の耳に入り難く、是に於て鋒先を轉じ前述の如き失意の境に在る高等遊民を煽動し、更に進んでは小學教師に宣傳し、尙ほ得意の非戰論を振廻して徴兵適齢者を誘ふた。此が豫期以上の成功を爲したるものは何故ぞ。

小學教師と徴兵適齢者の頭腦中に刻み込まれたるは實に恐るべくして、言語に絶し難い次第である。斯くの如き思想が我國に蔓延せるは、內閣方針の罪にあらず。時勢の潮流が斯く之を產んだのであるに外ならない。而して之れを防ぐ丈けの根底ある教育が出來て居ないのは何んたる不注意ぞ。當局者たるものは今後之を防ぐ方法を講ずるにある。「盗人を捕へて繩を糾ふ」と言ふて笑ふ者もあるかも知れぬが、前の盗人を捕ふる役には立たぬとしても、今後のためには充分間に合ふことを考へねばならぬ。それをも講ぜずして區々責任の在る所を問ふが如きは、野暮の骨頂たるのみならず、眞實誠意のない言動であると云ふを憚らぬ。

若し社會主義、無政府主義、大逆事件、附和雷同の青年輩を出したる責任を問ふならば、歷代の內閣が此に至らしめたと云ふより外ない。而して歷代の內閣をして此の不體裁を演ぜしめたるは、主として國民自身にありと言はねばならぬ。乃ち我等國民は人を責める前に先づ自から責めなければならぬではあるまいか。

社會問題を根本的に解決せんとするには、一方に於て社會政策を施して行くと共に、他方に於ては國民の思想を革新し、基礎あり根底ある所の思想を確立せねばならぬ。

思想の確立は學問の力に依つてのみ得る事の出來ぬのは從來の思潮に就ても我々は想像するを得るから、如何しても眞思想は矢張り宗教より生るゝのである。科學文明の現代に於ける人心は兎もすると宗教を無視するけれども古くして新しき此宗教に依り取らればならぬのである。

諸君！世又深川よりなんの善き者出でんやと言ふ

（大正五年十一月十四日）

泣いて廓清に訴ふ

横濱　梅翁

余や救世軍兵士なるが故に、現世に對して、寸毫の些事と雖其旗幟を鮮明に爲す可き、職責を要するを以て、茲に社會弱者の爲に泣て廓清に訴へて、社會公衆の警醒を乞はんとす。

社會は入水者、絞首者、自刄者等に對し、醫師警察の判定を尊重し、精神に異狀を生じとの一句を以て、死者のあらゆる境遇、あらゆる悲慘、あらゆる事情を葬り去つて恬として怪まざる者の如し。事を簡單に結了するは、文明複雜なる今日に所する適法なる可し、任他、宇宙の生物が禽獸蟲魚の微に至るまで、生を欲し死を惡まざる者なし。然るに人として、自ら水に投じて死し、自ら首を絞つて死し、自ら刄に伏して死す者、尋常精神に異なるは論を待たず。併其尋常精神に異狀を生せしむる原因を細査せば、或は人類の死生を判定するに、精神に異狀を示さざるは其疎漏にして、人類の生命を侮蔑し、世の獸類的橫暴者をして、志を得せしめ、終に亂倫橫暴、人道を輕し、正義を無視するの徒を養成するに至らずや。自死者其者の境遇悲慘事情を細査せば、自死するに至るの經路、何等怪しむ可き事情なく突然狂氣して、自死せるが如き者のみならざる可し、然らば必精神に異狀を生ずとの端句を以て死者の事情を說明するは適確の事にあらず或は下手之れを斬殺せるよりも言ふに忍びざる者あるを保す可からず。今其自死原因を擧ぐれば左の如し、一煩悶によつて狂氣せる者、二煩悶に抵抗する抵抗力足らずして煩悶より免かれんとする者、三自らは死を欲せずとも、他の脅迫によつて止を得ず自死する者、四他に自死せしめんとして、種々なる陰謀を爲す者あつて其陰謀を免る能はざる者、自死者概略此一二三四に相當して自死するならんも、猶之れを細別せば殆ご一部律書を爲すに足る可し、余は之れを細別して律書を作爲する能力を有せずと雖、其自死の原因深く死者に根底を有し、其事實或る犯罪に相當するが如き者をも顧みず、單に精神に異狀を生ずとのみの判定は、人道を貴び、正義を重ずるの所爲にして、橫暴亂倫を禦ぐ方法にあらざるなきや、死者に口なきを以て之れ以上の調査は爲す可からず、此不都合なる死者を出せし一家に對し他に處分の法なしとならば、我國の法律は不完全にして、國民をして堵に安ぜしむるに足らざる可し苟も此如き死者を出したる一家は、社會風習に茶毒する甚大なる者なれば、事情の如何に關はらず、留置一ケ月以上の精查を經、然る後之れが原因結果の發表を爲さば相當の所爲にあらずや、余は弱者なるを以て人命を侮蔑し、強者なるを以て橫暴を助くるは、正義人道によつて國家を統治するの適法にあらずと信ず。社會の木鐸たる新聞記者諸君は勿論、其他如斯事態に遭遇し、處理し研究しつゝある階級の者は充分に此事に就き考慮を要せざるや。兎角現世は我身の爲めならでは、振向くも忌やらしく感ずる者多きが故に、他人が如何なる事情に依つて自死するも、之を一場の茶話として馬耳東風、加之自死する者馬鹿也とは、東海の君子國も墮落せる哉。

話の種

□生きた人間を竹の鋸で引き殺した杯ご、嘘か眞實か判然しない其麼昔話を聞かされてさへ、我々は忽ち身の毛のよ立つ程怖しい感じがする以上の慘酷を二十世紀の現代にも尙行はれつゝあると云つたら誰しも驚くであらう。

□這麼事を言たら或者は、一笑に附して了ふと思ふが事實は昔話以上の悲劇、加も其本人には何等疚しい點がないのみならず、毛程の罪を犯した理由もないのに何故か現代の或一部社會では平氣でセヽラ笑ひし乍らやつて居るのだから吃驚する。

□事實は記者が實地見聞したのではないが、或る確かな實見者の追想談に依ると、洲崎辨天町に□□樓（樓名は態と記せず）と隨分古い經歷を持た靑樓がある

□遊廓の樓主と云へば斷然非道の人面獸心だから、今更六七十錢位の浴衣一枚を十八圓九十八錢に帳記したりするのは不思議でもないが、□□樓主といふのは夫れ以上に獰猛であつて、隨分娼妓を折監し虐待した事は言ふ迄もない。

□當時其樓には十數人の娼妓が居た。中には多くの客を取つた者もあるが、一人の娼妓には如何した事か一向客足が付かなかつた。

□併し殘忍なる樓主は客足が付かないと云つて其儘にしては置かない。種々な手段と方法に依つて折監をしたのであつた。

□固々嫌々乍らの娼妓だから、樓主の虐待に連れて益益稼業を嫌嘔の念が滋まつて行く許りで、如何なる殘忍の方法も精を出さす可き手段とはならなかつた。

貞操なき教育家

茨城　筑峰

身は第二國民養成の重大なる責任を有し、地方青年の模範となり專ら社會の風教を指導すべき教育家が、忌まはしき風潮に據つて今回計らずも六ケ月間の休職を命ぜられたる事件あり。今其詳報を記るさんに當地各新聞は本縣教育會の大問題と迄叫號せし程、天下の耳目を聳動せる本人は、茨城縣西茨城郡北山內校訓導なる仲村岩吉と云へる者、一昨年本縣師範校を出でたる前途遼遠なる青年教育家なるが、在學中附屬小學校生徒たりし石崎菜女と情を通ずるに至り、斯くて社會の問題とはなるに至りぬ。事實は單に之れ丈にて勿論其間には幾多の情實等潜在せりと雖も、要するに吾人が世間一偏通りに事實を發表せば極めて簡單明瞭にして地方青年男女の氣風、殊に貞操觀念の如何を具表示したるのみ也と謂はざる可からず。

嗟然、悲しい哉、身を教育界に置く以上、社會制裁は其教育家なるが故にといふ一片の理由に依つて、大なる禍を惹き起したるより他に何等の據る所なき也。如斯事實は表面に曝け出さぬが故に、其數極めて少なしと想ふは極めて淺慮と言はざる可からず。本縣各小學校全體を根掘り葉掘りて、鉦太鼓で探し廻れば必ずや其他に尙數等怖る可き教育界の問題とすべき重大事件の存すべきを疑ふ。表面に現はれたる少數の事實は啻に本縣のみに限りたる者にあらず、近くは隣縣なる栃木縣下に於ても、近年某女教師が自れの教授しつゝある男生徒を弄び、當時矢張本縣の如くに大騒ぎを爲したる事實を聞けり。斯かる事件の勃發するに際し其本人のみを酷視するは大に考ふ可き餘地の存するを吾人は飽く迄主張せんとする者也。

抑も貞操の觀念如何は之等種々雜多なる問題と引き離すを得ず。殊に本縣の如きは公娼こそ其數に於て他縣より少なしと雖も、酌婦即ち白首の類に至つては殆んど公娼の如き觀あり。本縣に於て白首と云へば必ず賣淫婦といふ感じを受くるが如きは夫れにして、貞操觀念は如何なる者か、之を有體に謂へば男女は互に貞操を守らざる可からずといふが如き、一の教訓もなき也。如斯社會狀態に成育せる男女が、譬へ身が教育界にありとするも、如何でか男女關係の不自然を邪と想ふを得るや。少くとも此際本縣教育界に於ては貞操觀念の向上を計るの急務なるは謂ふ迄もなき目前の急務なる可きなり。

然るに縣當局は、動もすれば男女間の交際を絕々杜絕せしめ而して其禍を免れんとするか如き古來の手段を採るが如き觀あり。彼の徒跡等の絕廢も此類の擧に出でたるものなるを證する縣政にして、只表面を飾らんとする官吏根性を發揮したるものなりと謂はざる可からず。元來現代に於て男女の交際を杜絕せしめ所謂之を支那式とせんとするは、其考への愚も亦甚しく、凡ての文明機關殊に社會風教は到底男女を飽く迄引離すを得ず、益々男女は接近しつゝあるは疑ひを容れず、天地の法則を無視せし爲、此禍を惹起せしめたる也。

□日毎の折檻に生傷の絕へない彼は、苦し紛れに一方法を考へ出した。といふもの〻固より無智な彼には悪鬼の手より逃れ去る自廢や、又他の巧妙な考へが出る筈はない。遂に彼は眼病といふ虛病を使つたのである

□樓主は直ぐ感付いたが病氣といふのに無理矢理に店へ出す事は多くの娼妓に對して自分の不利益であるから、其間彼樓主は脅したりすかしたりして幾分宛でも膏血を搾り取らねば損が行くといふ考へから、如何しても其儘抛つては置かぬ。纖弱なる彼は最後の刑を受けたのである。

□最後の手段として彼に下された宣告は斯うである。彼の眼が眞實のソコヒであるならば全然他を見る事が出來ぬといふ理由から、樓主は隣近所へ行つて幾丁かの剃刀を借りて來た。

□而して剃刀を疊と疊の間に刄を上に出して置いて、娼妓を呼び「貴樣の眼が眞にソコヒであれば、此處から向ふへ歩いて見ろ」といふた。ギラ〳〵した剃刀の刄は人の肌にソーと觸れてさへ直ぐ切れさうな光を見た彼が心は如何であらうぞ。

□彼は見す〳〵其刄を踏む事が出來やうか。けれども苦し紛れの彼は態と踏んだ!!途端にプツリといふ音と共に悲鳴を上げた。鮮血は邊に彩つた。彼は尙も悲鳴を續けて泣き叫んだ!!

□衆見者は一時氣絕したさうである。併し樓主は此有樣を見ると同時にセヽラ笑ひし乍ら、番頭を呼び樓主自身が自ら彼に手を下して髮の毛がヅタ〳〵になる迄打擲した。悲鳴は其後二日間許り其樓の裏手から邊へ洩れて居た。

□彼は其後什うなつたであらう。生きて居るであらうか、それとも死んだらうか。

熱血紅涙

□**内山藤太郎君**（靜岡） 早速會員の一人として記に雜誌御送付被下有難存候。廓清は其文字の如く廓を清める事の意味なれば、雜誌内容も又定めし其等の問題のみと思考致し居り候處、着次第熟讀せるに成程と感ぜらるゝ儀數多く、中にも人生の最も難問題にして加も尚數も多き男女問題に就て充分御研究の程は洵に御尤もなる儀と考へられ候。先は貴會の隆盛と會員各自の御奮闘を祈上候。

□**齋藤龜藏君**（三重） 本會の使命は社會の純潔を期し人類の幸福を永久に圖るを目的と爲すは、我等會員の等しく常に感ずる處である。併し如何に其標榜する點が大なりと雖も、本部諸先生丈が聲を嗄し社會に叫號した處で我々會員が相共に先生の説く處、行はん處を觀て實行しなければ大なる効果のある可き筈がないのみならず普通世間にありふれたる一雜誌の如く本誌を讀むで、只面白いとか或は六ケ敷しいとかのみを論ずるやうな事があつてはならぬ。只我々會員の義務の存する處、社會の純潔を期せんとする努力あり、而して其赤誠ありて眞に我等の愉快と幸福を得らるゝと思はればならぬ。

□**竹淵靜雄君**（長野） 現代の青年は墮落して居るといふ聲を諸君は耳にするであらう。小生も此聲を始終聞いて居る。此聲を只聞き流す事が出來るであらうか。小生は少しく不快を感ずると共に大に自省して居る。田舍と都會とは其風習に於て隔りがあるけれども都會の我々の如き學生が白粉や紅を塗ふて藝妓の批評する抔は洵に現代の青年の墮落したといふ理由になる筈である。我々は大に謹むと同時に廓清の二字を忘れてはならない。

□**中島千太郎君**（淀橋） 小生は密かに現代風致に注目して居る者、又之等問題に御奮闘遊ばされ居る諸先生の芳名も及聞候へ共、未だ嘗て廓清會といふ團體の御活動を知らざりしは何たる不心得の事かと大に自ら愧ぢ申候。嗚呼眞に憂ふ可きは現代の風教に有之、貞操の何たる純潔の何たる凡て社會萬般は恰も大洪水以前の觀有之候。而して上流社會より中流、目下は既に下流社會が殊に此問題に就て日々惱まされ居る者幾何ぞ。就中相當教育ある青年男女間の貞操に至つては言語同斷の沙汰に候。如斯際貴會が熱心此事に警鐘を亂打して、社會の迷へる者を覺醒さるゝ其御主旨に至つては眞に國家の慶賀とする處、國民は擧つて之れが援助を爲す可きは理の當然なるに動もすれば反對の氣勢を示すが如きは愚の到りに有之候はずや。最後に貴會の隆盛を望みて歇まず候。

□**吉田彌之助君**（小樽） 當區に於ても遊廓移轉とか申しては時々騷ぎ立て來り候。目下區長不在なれば具體的の立案も見られず。從つて之れが方法等は未だ決定致し居らず候へ共、何れ一問題の起る事と推察せられ候。其節は充分氣勢を上げ申すべく候。

編輯の後

△一陽來復、茲に大正第六の新春を迎へ會員諸氏の祝福を祈り健康を奉賀候。編輯部も昨年は兎角内外多事にして、それが爲め時には意外の發行遲延等有之何とも申譯無之候。今年は其れに鑑み充分留意して出來得る限り斷る事なきを期す可く、何卒諸君の御鞭韃御指導を奉願候。

△雜誌編輯上に就て御遠慮なき御批評を願上候。充分諸君の御意見を尊重可仕候。

△投書に就ては從來の通り大に歡迎致す可く候へ共、餘り長文に亘らざる者を希望仕候。殊に熱血紅涙は十行以内位に願上候。尚會の參考資料ともなる可き事件の惹起、又は其他種々雜多の材料等御心付の節は何卒御通知被下樣切望仕候。

△未納會費に對する集金郵便に就ては、前號會告の通り集金手數料を添加して御請求申上ぐる事に相成候間爾後出來得べくんば御會員諸氏御自身振替口座へ御拂込被下度然らざるに於ては手數料金五錢の損と相成譯に付何卒左樣御願申上候

△會員諸氏に對する身上相談等に就ては及ばず乍ら御希望に叶ふ樣親切丁寧に御解決申上べく候に付遠慮なく申越被下度候。

△本會の會員章に付き屢々御照會相成向有之候へ共未だ之れといふ確定せるもの無く候。（江南生）

大正六年一月一日納本（毎月一回一日發行）
大正六年一月一日發行　一部金七錢

編輯兼發行人　神田區今川小路一丁目三番地　伊藤秀吉
印刷人　小石川大塚窪町一番地　久保民生
印刷所　京橋區弓町十三番地　千代田印刷株式會社
發行所　芝區三田四國町二番地　廓清會本部
電話芝五八五五番
振替東京二七〇七二番

Digitized by Google　Original from COLUMBIA UNIVERSITY

新年の御慶目出度申納候

弊店は日用品の總てを網羅して陳列し、品質の精選、價格の低廉を期し、而かも流行の魁を爲すことを怠らず、萬事御客樣の御便利を相圖り候やう專念致居候間何卒御誘ひ合され御來觀の上、續々御用仰せ付け下され度偏に奉願上候。

●「地方御案內」は御申越次第進呈仕候●

東京

三越呉服店

効力五倍以上の

クラブ歯磨

Digitized by Google
Original from COLUMBIA UNIVERSITY